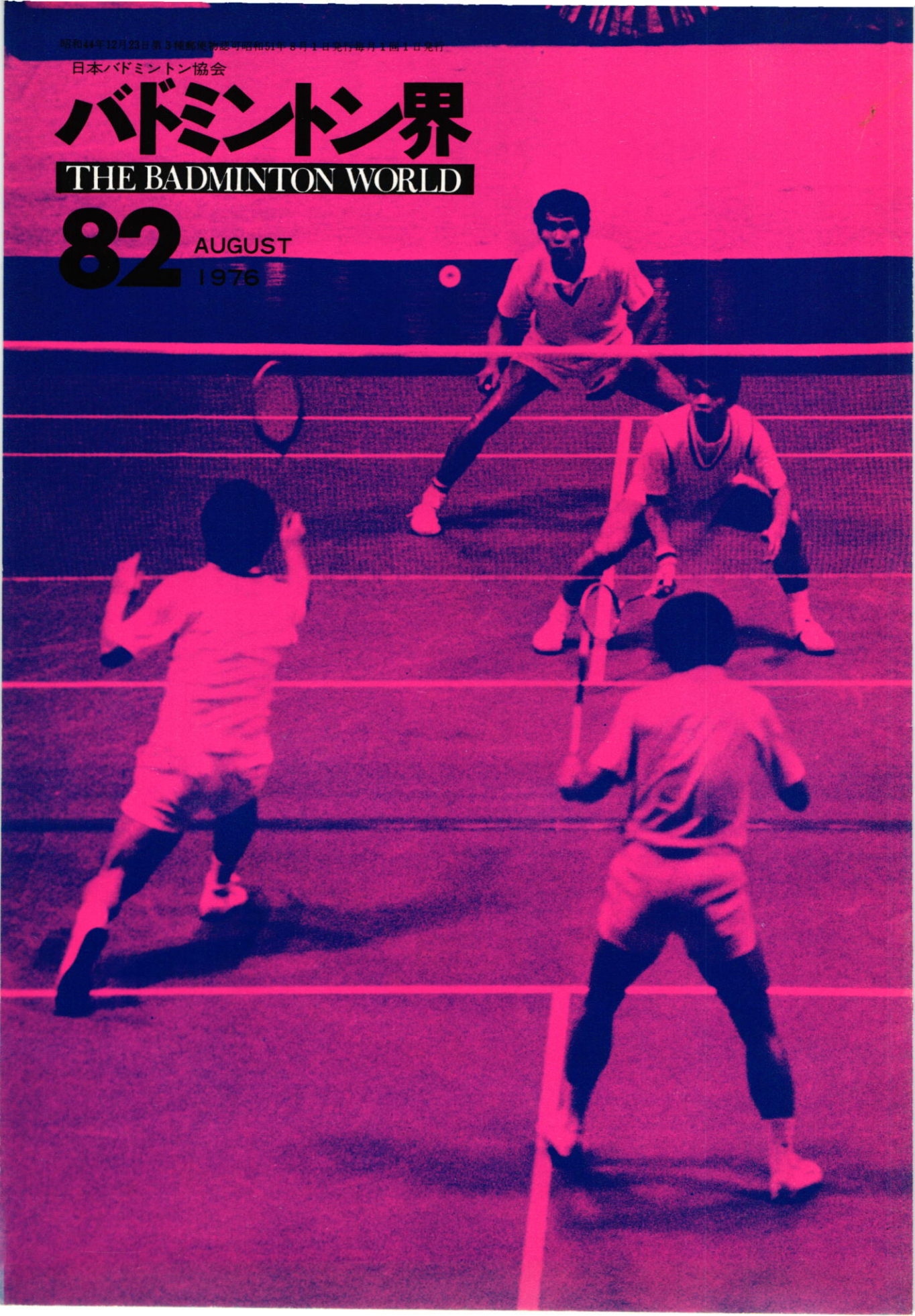
昭和44年12月23日第3種郵便物認可昭和51年8月1日発行毎月1回1日発行

日本バドミントン協会

バドミントン界

THE BADMINTON WORLD

82 AUGUST 1976



本誌専用合本バインダー12月１日発売

バドミントン界１年分12冊を，穴もあけず，ノリも不要の便利な合本バインダーが12月１日に発売になります。定価 500円（送料実費）です。ご希望の方はハガキで下記日本バドミントン協会出版局あて申込冊数明記のうえお申し込みください。発売と同時に代金後払いでお送りいたします。

別冊
1977年バドミントン・カレンダー
The Badminton World '77
が発行されます。

日本バドミントン協会では，昨年別冊 The Badminton World '76 カレンダーを発行し，大変ご好評をいただきましたが，今年は，全ページカラーで制作中です。大きさはＢ３判（週刊誌の４倍大）12ページ。定価 950円（送料実費）。収録選手は1976年の国内大会で好成績を収めた次の男女選手です。

◆男子◆小島一平・池田信孝・栂野尾昌一・銭谷欽治・飯野佳孝・土田証雄・長谷川博幸ほか

◆女子◆湯木博恵・栂野尾悦子・池田美加・徳田敦子・秋本八代美ほか

The Badminton World '77 カレンダーをご希望の方はハガキで下記日本バドミントン協会出版局あてお申し込みください。発行（11月中旬）と同時に代金後払いでお送りいたします。

●好評発売中
「ユーバー杯奪還への道」

「第７回世界女子バドミントン選手権（ユーバー杯）大会」の全記録を収録。カラーを含む数十枚の写真によって各国出場選手のプレーを分析できる選手・指導者必携の書。

- ●編集＝バドミントン界編集部
- ●著者＝本田弘敏・小宮淳宏・小飼栄一・後藤忠弘・福井正康・宮永武司・中山紀子
- ●写真撮影＝山田真市
- ●定価 1,000円（送料 120円）

お申込みは下記日本バドミントン協会出版局へハガキでどうぞ。

日本バドミントン協会出版局　〒150 東京都渋谷区神南１－１－１ 岸記念体育会館内

バドミントン界
THE BADMINTON WORLD
NO. 82

1976年8月号　目次

表紙撮影，本文中写真・山田真市，読者　イラスト・中島　潔

◇昭和51年度全国高校総合体育大会バドミントン競技◇
金沢市工(男子)四条畷(女子)連勝……2
シングルスは宍戸(塩釜)石川(四条畷)に栄冠
《記録》男子団体……5
女子団体……6
男子個人シングルス……7
女子個人シングルス……8
男子個人ダブルス……9
女子個人ダブルス……10
《グラビア》……18
騎馬戦で"三冠王"　日本一土産に帰県……20
一服した時の楽しみ　ハルトノ選手が観戦……23

◇第6回全国中学生大会◇
熊本(男子)連勝なる　滋賀(女子)三年ぶりの優勝……11

◇第15回全日本教職員バドミントン選手権大会◇
若さで山本(和歌山)が男子単を制す……12
団体は滋賀と岡山
石田(岡山)は全種目に優勝の快挙にあと一歩!!

「みんなでスポーツを！」……(財)日本体育協会アマチュア委員会……14
●特別寄稿＝夜明けの時代をふりかえって—2
わが国バドミントンの発祥と協会発足の回想……広田　兼敏……26
●第26回全日本実業団バドミントン選手権大会を顧みて
背面チーム名の表示について……野村　嘉明……28
●日本教職員バドミントン連盟編
審判に関する100問集④……34

◇第3回京都オープン家庭婦人バドミントン大会◇
ママは若さに自信　44チーム，350人が熱戦……25
◇第2回長崎県婦人バドミントンオープン大会◇
歓声渦巻く国際体育館〈大会に参加して〉……愛宕　尚代……32

⊙各地のたより⊙北から南から⊙
—大分—岡山—富山—
◎バドミントン界バックナンバー販売一覧表……38
◎編集室から……40

昭和51年度全国高校総合体育大会バドミントン競技――8・1～6●中野市

金沢市工（男子）四条畷（女子）連勝

シングルスは宍戸（塩釜）石川（四条畷）に栄冠

昭和51年度高校総体兼第27回全国高校バドミントン選手権大会は、8月1日より6日まで中野市で八八三名の選手を迎え盛大に開催された。長野県は53年国体開催が決定している関係もあって総体事務局は準備に万全を期し、積極的な大会運営は実に立派であった。

昨年の水戸大会は教職員が中心となったが、今年は各層の組織体制の中で特に市実行委員会が中心となった。それぞれ開催地の指向があり、よい傾向だと思う。

今大会は十年ぶりに総合開会式に参加でき、感激もひとしおだった。種目別開会式が2日早朝であった競技に支障なく盛会裏にできた。

市体育館は12コート。中野高校が11コートで、今までになく整然とした会場設営は好評だった。運営の面でも主任が着実にリーダーシップをとり、全体として円滑な流れであった。

毎回きまって酷暑の大会であったが、今大会は涼しい天候に恵まれ、一件の事故もなく選手全員ベストで競技できたことは何よりであった。

また、渋温泉を中心とした宿舎は選手・役員にとっては昼間の疲れをいやすことができ、良い条件に満足していた。大会中の送迎は各旅館のマイクロバスでサービスをしていただき、選手・役員感謝にたえない。

8月6日は27回にして初めて個人戦女子複の決勝戦がNHKの放映に沿し、全国のバドミントン愛好者は観賞の機会に恵まれたことは大変ありがたかったが、今一つプレーに盛り上がりがなかったのは残念だった。また、たまたま来日中のルディ・ハルトノ選手が訪観し、入賞選手を激励していた。

一方成績の方は、金沢市立工業と四条畷学園に男女共に連勝を簡単に許す結果で、全般的に低調であり、気迫でぶつかるチームがなかった。

個人的には、男子で宍戸（塩釜）、重山（金沢市工）、上原・平野（高松商）など、女子では石川（四条畷）、藤井（青陵）などが進路次第では将来楽しみな選手だろう。他に一、二年生の中には男女共に好選手が多く、来年に期待したい。成績は別記の通り。

（大会役員長・遠井稔男）

◆男子団体戦

▽準決勝

金沢市工 3（複2―0 単1―0）0 比叡山（滋賀）（石川）

重山 坂本 2（15―5 15―9 15―5）1 山本 西山

森田 島崎 2（15―9 7―15 15―12）1 山岡 山之上

重山 2（15―8 15―6）0 西山

九州学院 3（複1―1 単2―0）1 一条（奈良）（熊本）

宮本 石本 1（18―16 11―15 9―15）2 小浜 諸多

江藤 上村 2（10―15 15―3 15―12）1 西川 吉村

宮本 2（6―15 15―10 15―3）1 小浜

▽決勝

金沢市工 3（複2―0 単1―1）1 九州学院

重山 坂本 2（15―5 15―4）0 宮本 石本

森田 島崎 2（4―15 15―5 18―16）1 江藤 上村

山口 1（11―15 15―4 12―15）2 宮本

森田 2（18―15 15―10）0 上村

上村 2（15―8 15―10）0 西川

〔戦評〕

金沢市立工業昨年度に続き二連勝なるか、九州学院が初優勝達成するかの北陸・九州地区の対戦となる。

〈第一ダブルス〉

重山・坂本組対宮本・本石組

第1ゲーム前半、宮本・本石組は前の試合の疲れかミスが目立ち、3－9とリードされ、後半も重山・坂本組のペースで試合が展開、第1ゲーム15－5で重山・坂本組取る。

第2ゲームも重山・坂本組が一方的に強打を決め、15－4で金沢市立の1勝となる。

〈第二ダブルス〉

森田・島崎組対江藤・上村組

第1ゲーム、江藤・上村組のペースで試合が進み、あっさり15－4で取る。

第2ゲームは森田・島崎組のペースとなり、15－5で森田・島崎組が取る。

ファイナルゲームは、1点を追うシーソーゲームが展開され、手に汗にぎる大熱戦の末に18－16で森田・島崎組が取る。

〈第一シングルス〉

山口対宮本

第1ゲーム、宮本の長身からのスマッシュがよく決まり、15－11で宮本取る。

第2ゲーム、宮本の疲労でミスが目立ち4－15で取られる。

ファイナルゲーム、1点を追う試合が展開されたが、15－12で宮本が取る。

〈第二シングルス〉

森田対上村

第1ゲーム、森田はたくみなコーナーワークで左右前後にゆさぶり、18－16で取る。

第2ゲーム、お互いに同じタイプの対戦のため一進一退の試合となり、森田が気力で上村に15－10で取る。

この結果、金沢市立工業の二連勝となる。（大世古吉弘）

◆女子団体戦

▽準決勝

四条畷学園（大阪） 3（複2－0、単1－0）0 真岡女子（栃木）

石川末兼 2（15－13、15－10）1 枝海老原

河村平 2（15－5、15－6）0 山水沼菅

石川 2（11－0、11－3）0 田口

新潟青陵（新潟） 3（複2－0、単1－0）0 土佐女子（高知）

高斎藤野 2（15－1、15－1）0 田村寺田

青木藤井 2（15－9、15－2）0 山浜本田

佐藤 2（11－5、11－6）0 田村

▽決勝

四条畷学園 3（複2－0、単1－1）1 新潟青陵

河村平 2（11－15、15－1、15－18）1 青木藤井

石川末兼 2（15－7、15－7）0 高野斎藤

河村 1（11－3、3－11、3－4）2 藤井

石川 2（11－6、12－10）0 青木

〔戦評〕

〈第一ダブルス〉

河村・平組対青木・藤井組

第3ゲーム、追いつ抜かれつのデッドヒート。最後は、河村・平組に勝利の女神がほほえむ。河村・平組のロングサービス戦法とレシーブ力に一日の長あり。

〈第二ダブルス〉

石川・末兼組対高野・斎藤組

末兼は一年生ながら石川のリードよろしくがんばり、高野・斎藤組を倒す。

石川の最初から最後までのパワーに感心する。

〈第一シングルス〉

河村対藤井

ダブルス二勝の四条畷は気をよくして簡単に1ゲームを河村が取ったが、2、3ゲームに自滅してしまう。

〈第二シングルス〉

石川対青木

石川のスピードあるスマッシュに青木がついていけなかったが、1ゲームよくがんばり一時リード、セッティングで石川。

2ゲーム目、前半好試合となったが、後半石川の一人舞台。

四条畷のエース石川を軸に、二年生、一年生を団体に出場させ、堂々と優勝したのには感心するのみ、来年もまた、優勝確実のようである。

決勝戦でひとこと、パワーとねばりの四条畷、テクニックの青陵を感じた。（毛利清志）

◆男子シングルス

▽準決勝

宍戸（塩釜） 2（15－9、15－7、12－15）1 重山（金沢市工）

諸多（一条） 2（15－8、15－4）0 北橋（比叡山）

▽決勝



▲上原・平野（高松商，向う）対山西・森井（伊勢工，手前）の男子ダブルス決勝戦

宍　戸　2（15―10　15―9）0　諸　多

◆女子シングルス

▽準決勝

石　川（四条畷）　2（11―9　11―0）0　南　雲（渋川女）

河　村（四条畷）　2（11―1　11―2）0　柴　田（滋賀女）

▽決勝

石　川　2（11―4　12―9）0　河　村

〔戦評・男子〕

第1ゲーム、宍戸隆夫は諸多博三をクリヤー、ドロップで前後にゆさぶり、チャンスと見ては鋭いスマッシュを決め、15―10で宍戸が取る。

第2ゲーム、前半、諸多のミスが目立ち、8―3とリードされる。中盤、諸多がよくがんばって9―8と追いついたが、宍戸の鋭いスマッシュと大きなドロップで、15―9で宍戸が取る。

（大世古吉弘）

〔戦評・女子〕

第1ゲーム、前半お互いにミスが多く得点ではせり合っていたが、後半河村茂美のクリヤーが甘くなり、石川好子のスマッシュ、ドロップが有効に決まり、一方的に石川の勝ち。

第2ゲーム、石川の四隅を正確につくプレーが河村のミスを誘い、前半石川に有利に展開したが、中盤から後半にかけて、河村は石川の攻撃を逆に利用した切りかえし等で着々得点。石川のミスも誘って9―9セッティングに持ち込む。セッティングになってからは、石川が要所要所をしめてあぶなげなく勝利をおさめた。

同一校同士の対戦で、緊迫感に欠ける試合。やはり石川の貫録勝ち。

（百瀬健司）

◆男子ダブルス

▽準決勝

山　西　森　井（伊勢工）　2（15―6　15―6）1　工　藤　伊　藤（日大山形）

上　原　平　野（高松商）　2（15―11　15―11）0　小　諸　浜　多（一条）

▽決勝

上　原　平　野　2（15―4　15―9）0　山　西　森　井

◆女子ダブルス

▽準決勝

青　木　藤　井（新潟青陵）　2（15―6　11―15　15―13）1　徳　永　喜　多（巣鴨女）

石　川　平　田（四条畷）　2（15―3　15―2）0　浜　村　田（土佐女）

▽決勝

石　川　平　川　2（15―0　15―7）0　青　木　藤　井

〔戦評・男子〕

共に立ち上がり堅くなり、特に山西・森井組にドライブミスが多く、上原・平野組がスマッシュをよく決めて、そのまま15―9で1ゲームを先取。

第2ゲームも高い打点から打つ上原・平野組のスマッシュ、ドロップショットに対して山西・森井組にレシーブミスが多く、高松商が一方的に15―4と勝ち、高松商ダブルスに初優勝。

男子ダブルスの決勝戦としてはあまり盛り上がりのない一戦であった。

（不破　裕）

〔戦評・女子〕

第1ゲーム、対巣鴨戦での疲れが残っていたのか、青木・藤井組は動きがやや遅く、得意のショートサービスもラッシングされて攻めにつながらず、15―7で石川・平組が先取。

第2ゲームは、石川・平組がますます調子の波にのり、攻めてよし守ってよしの安定したプレーを展開、動きも早く、平のネット際でのプレーが先手先手と理想のフォーメーションとなり、凡エラーも皆無に近く、着着とポイントを重ねていった。

一方の青木・藤井組も必死に食い下がってねばったが、得点に結びつかず、15―0のシャットアウトに終わった。

石川・平組が勝った瞬間に四条畷の三冠王が決定した。

（毛利清志）

短　信

㊐ 広島県バドミントン協会、広島県高等学校体育連盟主催の**第8回広島県個人総合選手権大会**が、51年4月25日広島県立体育館で行なわれた。男子シングルス＝矢野（日立）、男子ダブルス＝矢野・安田（日立）、女子シングルス＝磯部（第一女）、女子ダブルス＝河野・小田（広大）がそれぞれ優勝を飾った。

㊐ 近畿教職員バドミントン連盟主催、**第10回近畿教職員バドミントン選手権大会**が、51年6月6日和歌山県立体育館で開催された。男子5チーム、女子4チームが参加、男子は和歌山Aが通算4度目、女子は和歌山が通算5度目の優勝を果たした。

㊐ **第8回広島県理事長杯バドミントン大会**が、51年7月4日日本鋼管福山体育館で行なわれた。優勝者▽矢野（日立）＝男子（1部）シングルス、木村（広大）＝男子（2部）シングルス、矢野・安田（日立）＝男子（1部）ダブルス、小林・山本（修大）＝男子（2部）ダブルス、山内（NKK）＝女子シングルス、原田・大下（鈴短）＝女子ダブルス。

㊐ **昭和51年度岡山県社会人バドミントン選手権大会**が7月11日、岡山西大寺中学体育館で、また**岡山県体育大会バドミントン競技会**が8月1日、岡山県西大寺中学体育館で、それぞれ行なわれた。

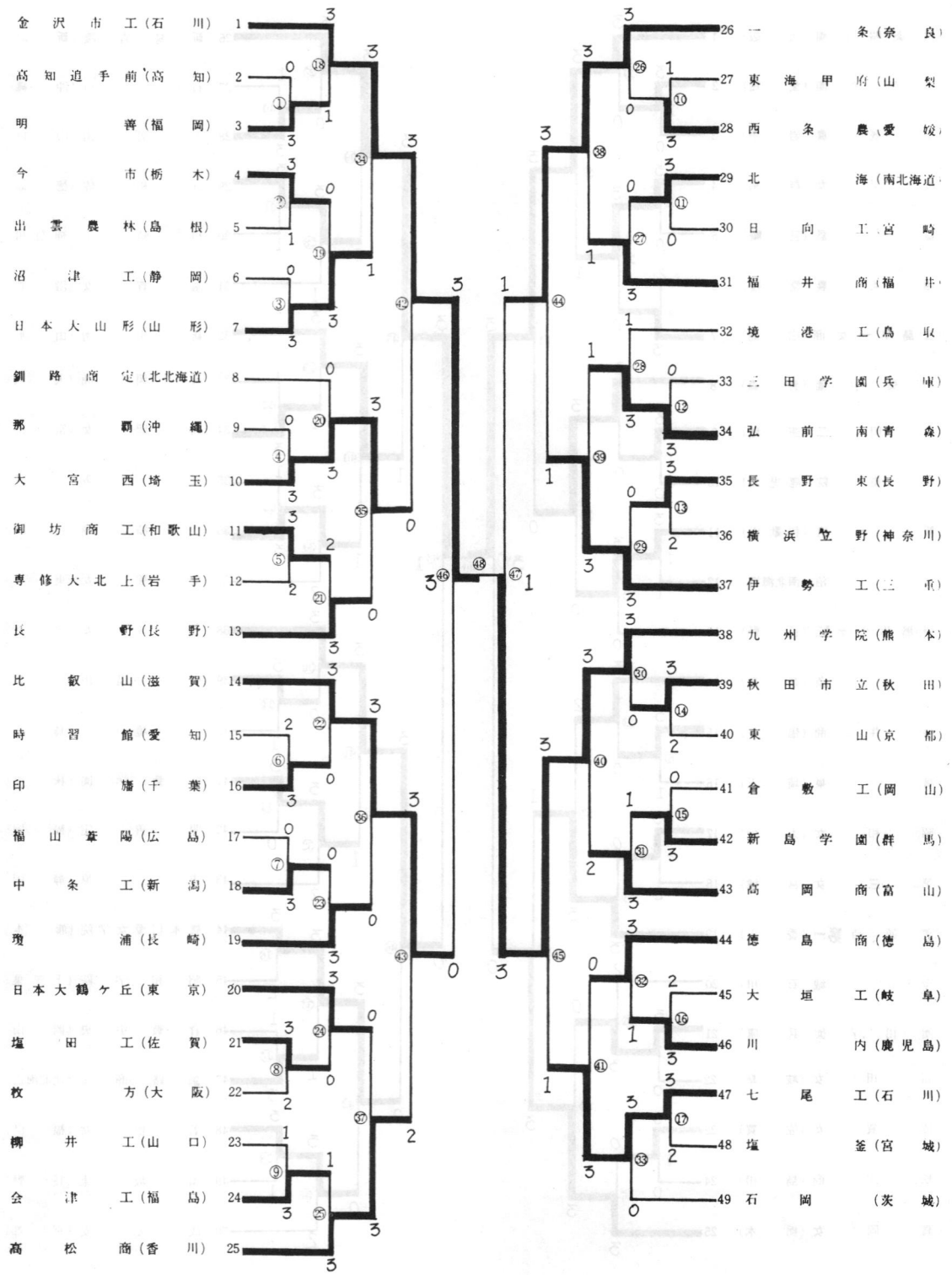
㊐ **広島・長崎平和文化都市親善バドミントン競技大会**が、51年8月18日（広島大会）、8月29日（長崎大会）、それぞれ広島県立体育館、長崎市民体育館で行なわれた。これは広島市と長崎市との平和文化都市提携一周年の記念行事として、両市において親善バドミントン競技大会を開催し、バドミントンの白い羽根が平和の使者となり、今後の密接なる市民スポーツの交流に資することが目的である。広島大会は長崎12―5広島、長崎大会は長崎9―5広島の成績で長崎チームの連勝であった。

㊐ **一九七六年度日・韓高校スポーツ交歓競技会**が、51年8月20日～24日にわたって行なわれた。バドミントン競技は日大鶴ケ丘、金沢市立工業、巣鴨女子、四条畷学園と、韓国選抜男女チームの間で戦われ、日本チームの1勝3敗であった。

短　信

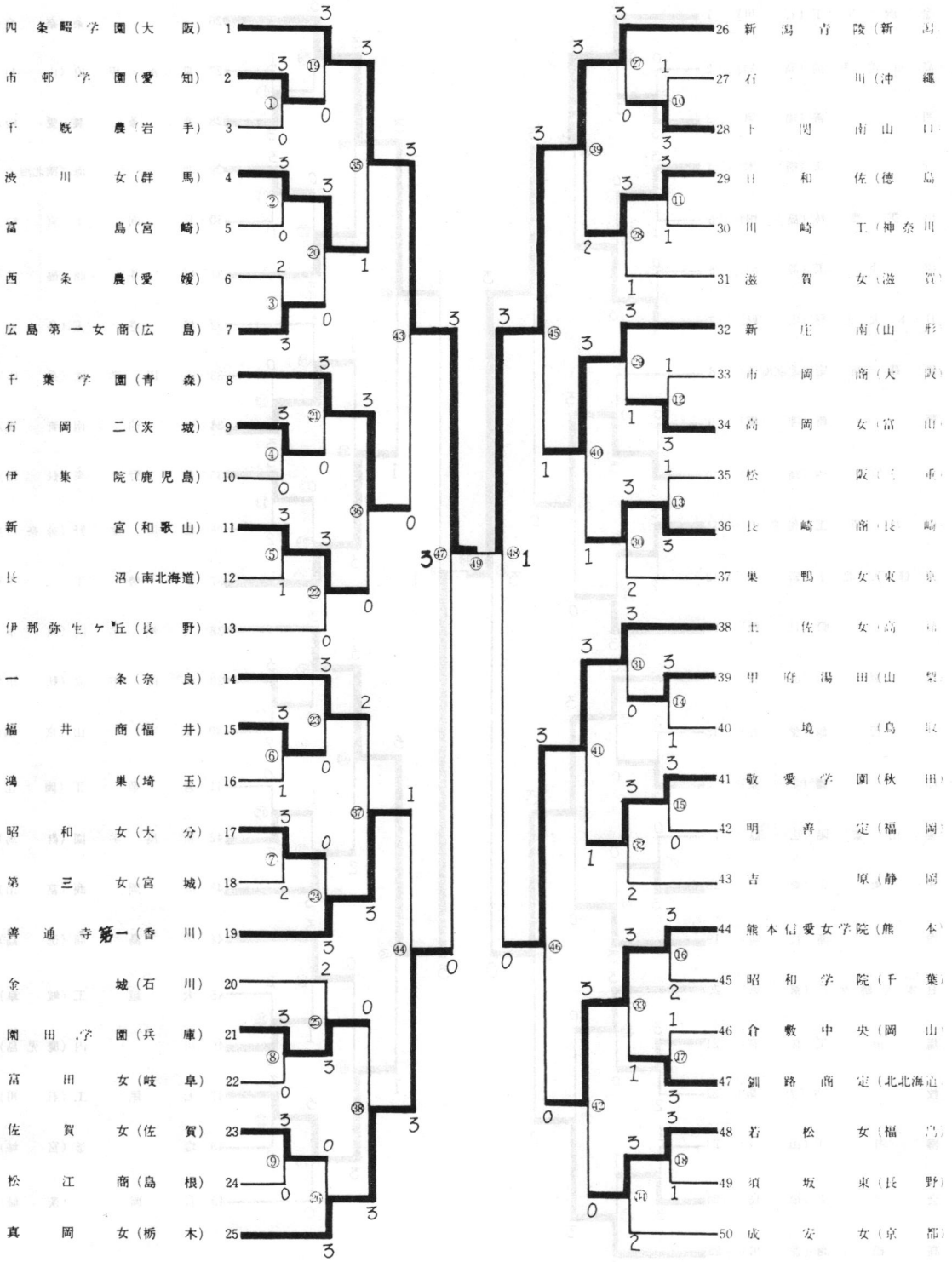
昭和51年度全国高等学校総合体育大会
第27回全国高等学校バドミントン選手権大会

男子団体戦組合せ表（成績）



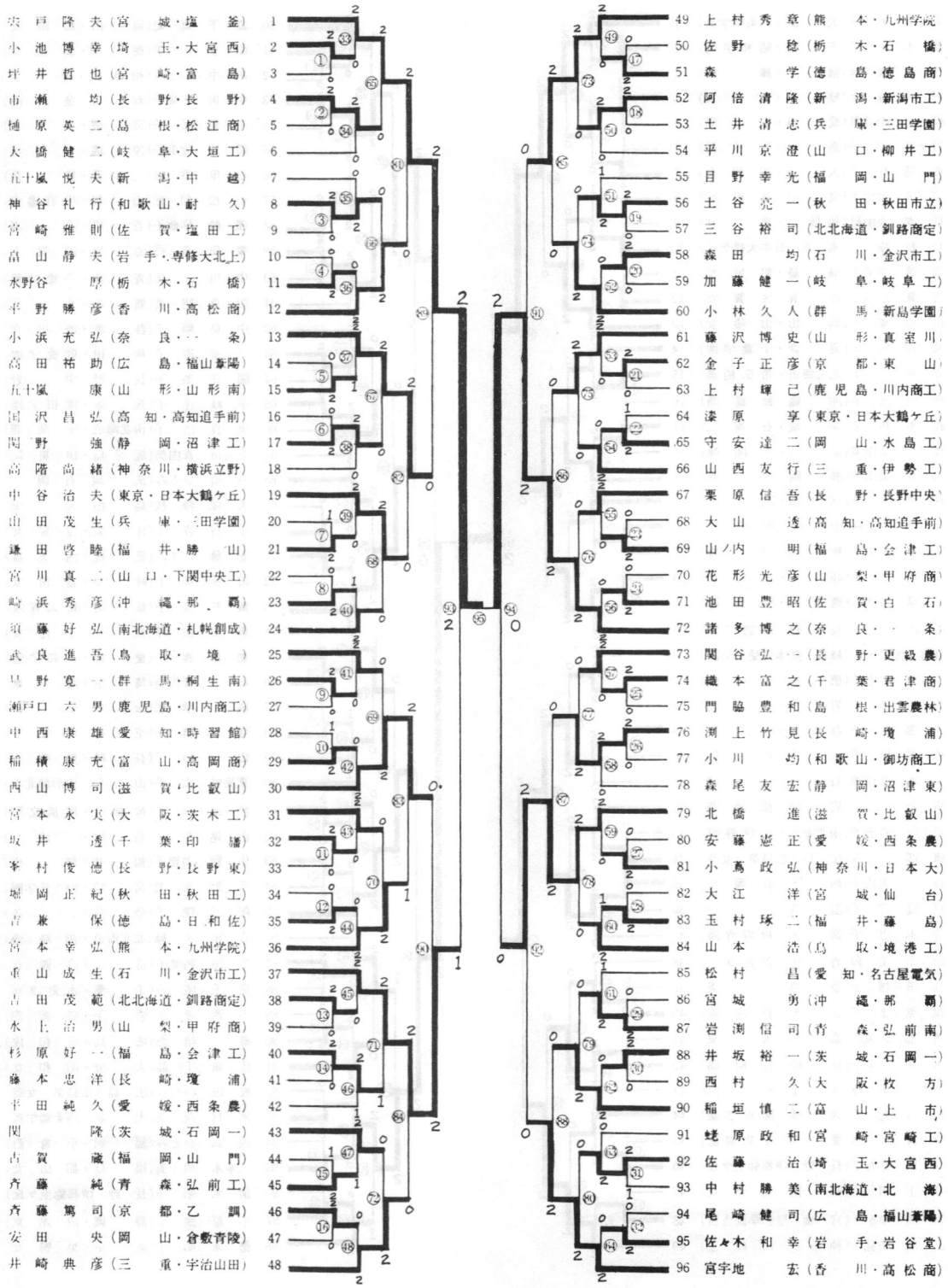
昭和51年度全国高等学校総合体育大会
第27回全国高等学校バドミントン選手権大会

女子団体戦組合せ表（成績）



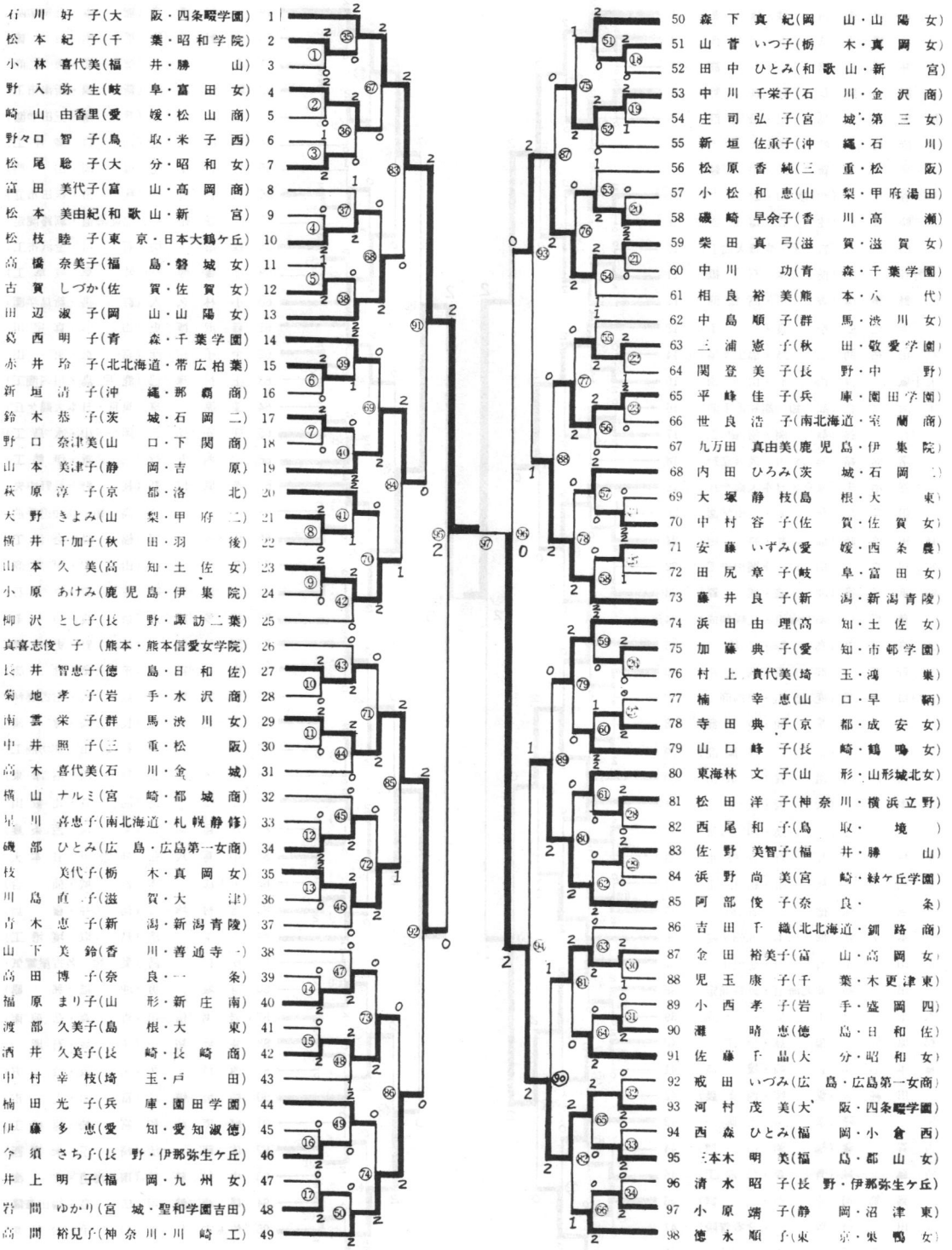
昭和51年度全国高等学校総合体育大会
第27回全国高等学校バドミントン選手権大会

男子個人戦シングルス組合せ表（成績）



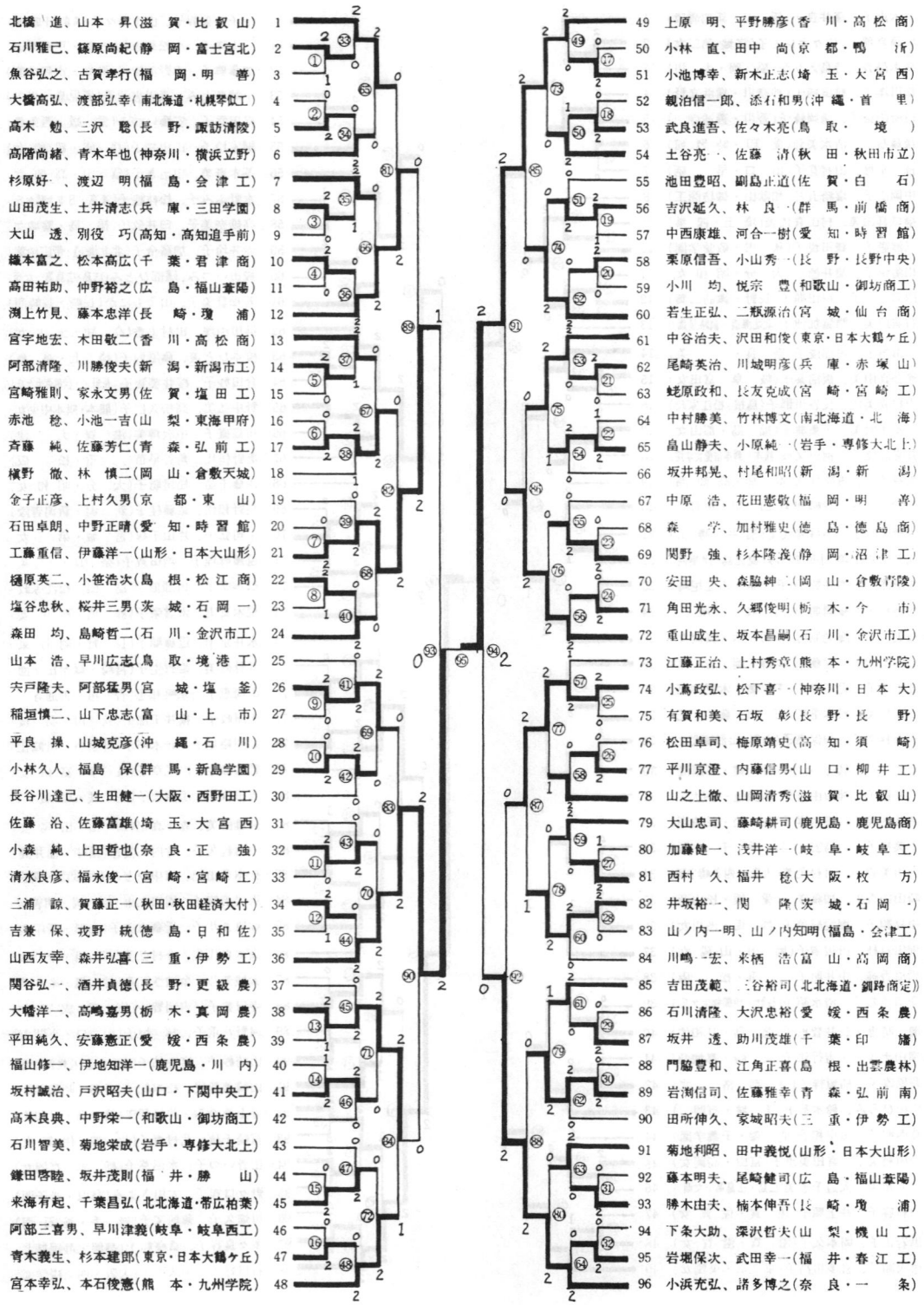
昭和51年度全国高等学校総合体育大会
第27回全国高等学校バドミントン選手権大会

女子個人戦シングルス組合せ表（成績）



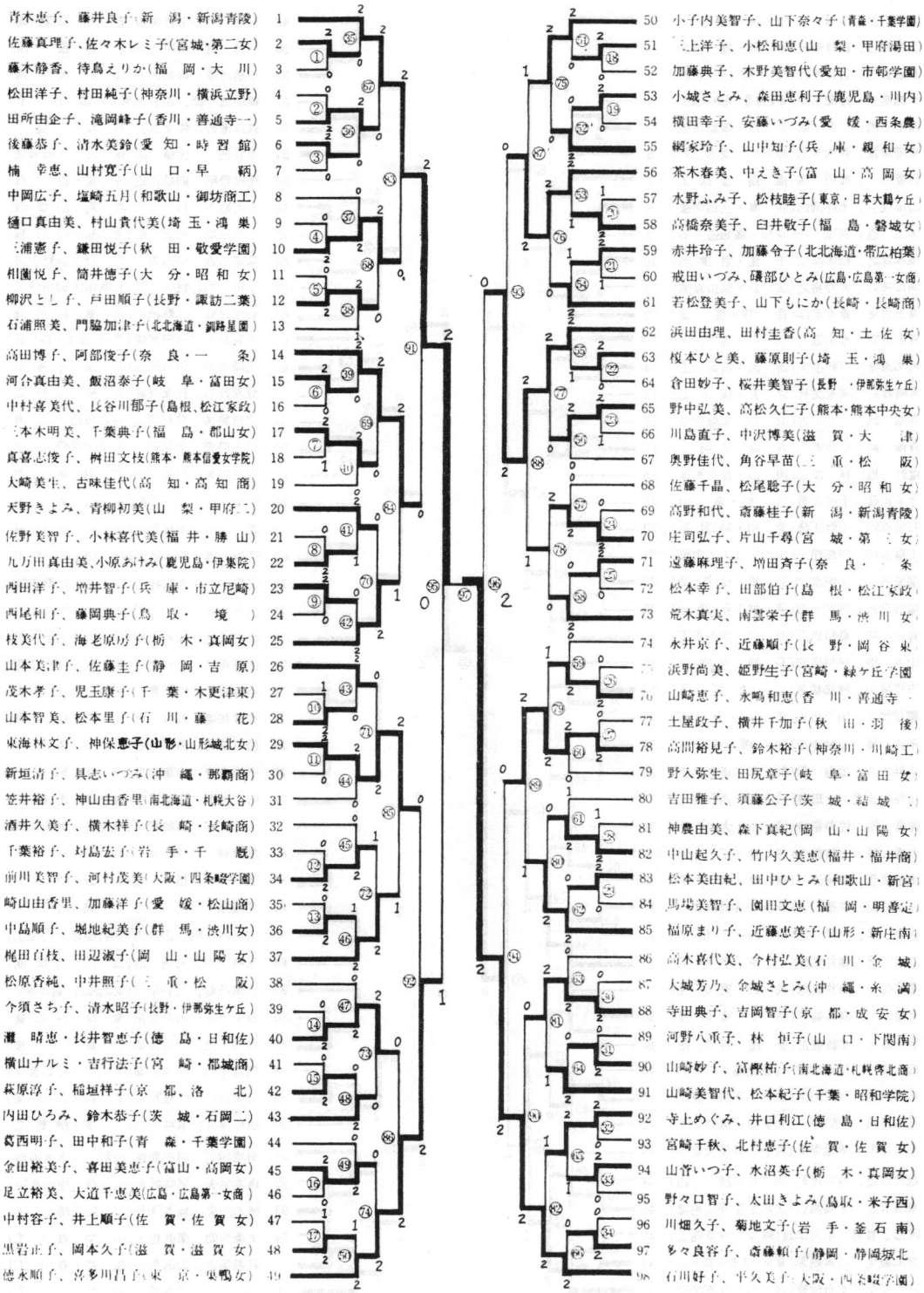
昭和51年度全国高等学校総合体育大会
第27回全国高等学校バドミントン選手権大会

男子個人戦ダブルス組合せ表（成績）



昭和51年度全国高等学校総合体育大会
第27回全国高等学校バドミントン選手権大会

女子個人戦ダブルス組合せ表（成績）



第6回全国中学生大会

熊本（男子）連勝なる
滋賀（女子）三年ぶりの優勝

全国中学生バドミントン大会は、8月18日～20日まで仙台市の宮城県スポーツセンターで七二〇名の選手が参加し盛大に開催された。

二年間の準備期間とベテランスタッフによる大会運営はさすが立派であった。特に大会運営の役割・分担が細部に分化され、その機能は完全であった。

宮城県バドミントン協会全員が動員され、教職員と生徒は運営と競技とをいっさい担当、審判員は県協会員と学生部員が全面的にフォローし、受付接待は婦人クラブ員の総動員で湯茶の接待といった具合に、皆さんが本当に真剣に仕事をしたが、全体をみるとバドミントンを楽しんでいるという雰囲気がよくでていた。仕事はこうあってほしいと思う。

成績の方は男子決勝では熊本と栃木の対戦となったが、複で圧倒的に栃木、単で二試合とも熊本がリードし、結果は2－1で熊本の連勝に終わった。

一方女子は、滋賀対大阪の対戦で複は接戦の末2－1で滋賀が打ち勝ち、単を分けて三年ぶり二度目の優勝となった。

他に男子の奈良は、準決勝で熊本に第二単逆転負けしたのは惜しまれた。

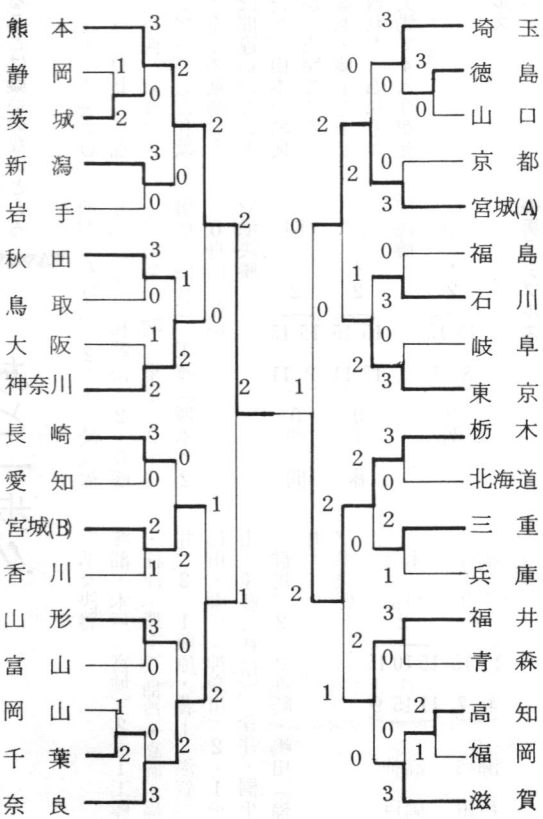
地元宮城チームも大健闘し、初入賞を果たした。

女子も埼玉、熊本と上位四チームは実力伯仲で、1点を争うゲーム展開が多かった。

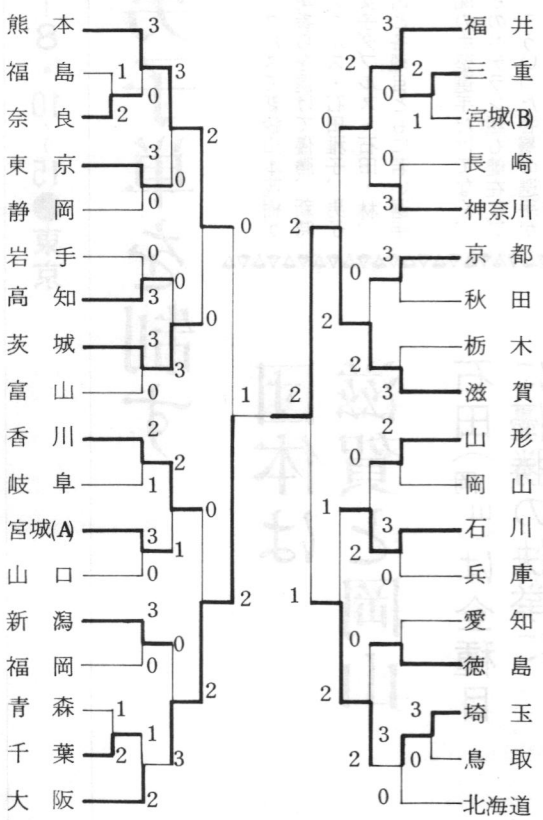
全般的に力でおす選手が少なく、もっと基本技をたたき力をつけ、今勝つ選手でなく将来につながるご指導をいただきたいと思う。

（遠井稔男・大会競技委員長）

〈男子組合せと成績〉



〈女子組合せと成績〉



第15回全日本教職員バドミントン選手権大会――8・10～15●東京

若さで山本（和歌山）が男子単を制す

団体は滋賀と岡山

石田（岡山）は全種目に優勝の快挙にあと一歩!!

全国から教職の身にあるバドミントンプレヤーを集めて開かれる全日本教職員選手権大会も、今年で15回目を迎えた。そこで第1回大会を開催した、いわば教職員大会発祥の地・東京で今大会は盛大に実施された。会場は駒沢オリンピック公園にある駒沢体育館・駒沢屋内球技場をメインに、千代田区体育館、大田区体育館、二階堂学園体育館で真夏の酷暑のもとで大熱戦がくり広げられた。

大学を出たばかりの新鋭、初期大会から連続出場のベテランが、教える身から実際に戦う身になってシャトルを追う姿は非常にすがすがしいものがあり、会場のあちこちでは、一年ぶりの再会を喜ぶ選手同士そして家族の交流がみられ、教職員大会ならではの雰囲気であった。

競技のほうは、男子シングルスで新鋭山本茂樹がベテランの関一成、工藤勇参らを退けて優勝、新時代の幕をあけた。女子シングルス・石田雅子、男子ダブルス・今井・桐生、女子ダブルス・石田・林、混合ダブルス・今井・秋山と各種目ともに若い選手の台頭がめざましかった。

しかし、前述の工藤、関の中堅選手だけでなく、杉田、三宅、北方、渡部らのベテラン組も健在なプレーぶりを見せてくれた。こういった各層の選手が一体となってシャトルを追いつづける間は、この教職員大会がさらに発展することは疑いのないところであろう。

〔評〕 新卒の山本（中央大OB）、米山（法政大OB）を加え、門間、森、中西、武藤のメンバーでラインアップした和歌山は準決勝まで全くの楽勝ペース。優勝はほぼ間違いのないところと思われたが、山本の酷使がたたったのか、決勝でスタミナを消耗し、藤原・藤上を中心とする滋賀に敗れた。石川もエース長谷川の欠場で4入りがせいいっぱいであった。

◆男子団体戦

▽準決勝

滋賀3（複2－0、単1－0）0石川

和歌山3（複2－0、単1－0）0栃木

▽決勝

滋賀3（複2－0、単1－1）1和歌山

岐阜2（複1－0、単1－1）1滋賀

◆女子団体戦

▽準決勝

岡山2（複1－0、単1－1）1栃木

岡山2（複1－0、単1－1）1岐阜

▽決勝

大阪2（複1－0、単1－1）1北海道

大阪2（複1－0、単1－1）1熊本

◆成壮年団体

▽準決勝

大阪2（複1－0、単1－1）1北海道

熊本2（複1－0、単1－0）0福島

▽決勝

大阪2（複1－0、単1－1）1熊本

◆男子シングルス

▽準々決勝

門間（和歌山）2－1寺崎（福井）、山本（和歌山）2－0藤上（滋賀）、関（東京）2－0藤原（滋賀）、工藤（熊本）2－0舟山（秋田）

▽準決勝

関 2（15－2、15－11）0門間

山本 2（15－13、15－11）0工藤

▽決勝

山本 2（15－8、15－7）0関

◆男子ダブルス

▽準々決勝

渡部・木戸（宮城）2－1工藤・稲津（熊本）、神戸・高岡（福井）2－1藤原・藤上（滋賀）、杉田・瀬戸（神奈川）2－1舟山・遠藤（秋田）、今井・桐生（群馬）2－0寺崎・嶋田（福井）

▽準決勝

渡部・木戸 2（15－11、10－15、15－9）1神戸・高岡

今井・桐生 2（15－4、15－7）0杉田・瀬戸

▽決勝

今井 桐生 2 (15-8 15-9) 0 渡部 木戸

◆女子シングルス

▽準々決勝
堀川（新潟）2－0池尻（千葉）
藤島（岡山）2－0功力（東京）
北島（島根）2－0名和（岐阜）
石田（岡山）2－0佐円（岐阜）

▽準決勝
堀川 2 (11-6 11-2) 0 藤島
石田 2 (12-10 7-11 11-7) 1 北島

▽決勝
石田 2 (11-7 8-11 11-4) 1 堀川

◆女子ダブルス

▽準々決勝
広沢・名和（岐阜）2－1木村・当摩（埼玉）、石田・林（岡山）2－0柿崎・平野（千葉）、望月・鈴木（静岡）2－0服部・田中（滋賀）、池尻・遠藤（千葉）2－1天野・佐円（岐阜）

▽準決勝
林田 石 2 (15-4 15-7) 0 広沢 名和
池尻 遠藤 2 (15-12 15-1) 0 望月 木村

▽決勝
林田 石 2 (15-9 15-3) 0 池尻 遠藤

◆30歳男子シングルス

▽準々決勝
西田（熊本）2－1伊勢田（大阪）、田中（千葉）2－1鎗水（福岡）、中島（福岡）2－0久保田（埼玉）、南（三重）2－0菊池（岩手）

▽準決勝
西田 2 (15-4 15-6) 0 田中
南 2 (15-11 15-12) 0 中島

▽決勝
西田 2 (15-13 15-9) 0 南

◆30歳男子ダブルス

▽準々決勝
大世古・南（三重）2－0伊勢田・大河内（大阪）、野見山・都（福岡）2－0村西・松本（石川）、香島・浜司（長崎）2－0中島・鎗水（福岡）、阿部・宮崎（北海道）2－0南・西田（熊本）

▽準決勝
野見山 都 2 (17-15 15-6 3-15) 1 大世古 南
香島 浜司 2 (15-6 15-4 12-15) 1 阿部 宮崎

▽決勝
香島 浜司 2 (15-2 15-10) 0 野見山 都

◆40歳男子シングルス

▽準々決勝
鈴木（秋田）2－0中村（埼玉）、元田（熊本）2－1西崎（岡山）、神山（北海道）2－0前田（東京）、毛利（岡山）2－0本郷（熊本）

▽準決勝
鈴木 2 (15-6 15-3) 0 元田
毛利 2 (15-8 15-2) 0 神山

▽決勝
鈴木 2 (15-4 15-7) 0 毛利

◆40歳男子ダブルス

▽準々決勝
三須・鈴木（東京）2－0山根・米田（鳥取）、不破・内多（富山）2－0宮脇・島津（大阪）、毛利・西崎（岡山）2－0元田・福田（熊本）、本郷・沢田（熊本）2－1神山・東（北海道）

▽準決勝
不破 内多 2 (15-13 15-2) 0 三須 鈴木
毛利 西崎 2 (15-3 15-10) 0 本郷 沢田

▽決勝
毛利 西崎 2 (15-3 15-10) 0 本郷 沢田

◆50歳男子シングルス

▽決勝
平田（東京）2 (15-4 15-5) 0 島谷（北海道）

◆50歳男子ダブルス

▽決勝
吉持（兵庫） 島谷（北海道） 2 (15-12 15-14) 0 平田 橘田（東京）

◆30歳女子シングルス

▽決勝
宮城（静岡）2 (11-2 11-2) 0 岡野（東京）

◆混合ダブルス

▽準々決勝
三宅・石田（岡山）2－0上原・名和（岐阜）、松尾・北島（島根）2－0伊藤・久留島（東京）、小田・林（岡山）2－1田中・池尻（千葉）、今井・秋山（群馬）2－0北方・石田（石川）

▽準決勝
三宅 石田 2 (18-14 8-15 15-8) 1 松尾 北島
今井 秋山 2 (15-10 15-7) 0 小田 林

▽決勝
今井 秋山 2 (15-8 15-13) 0 三宅 石田

ユーバー杯奪還への道

代金後払いにて発売中

●体裁＝A5判128ページ、うちカラー16ページ
●主な内容
第Ⅰ部＝大会経過と試合全記録
第Ⅱ部＝ユーバー杯奪還対策をさぐる
第Ⅲ部＝オフ・ザ・コート
●定価1000円

●申込方法＝ハガキに住所・氏名・申込部数を明記のうえ、左記あてお送りください。
●申込宛先＝〒150東京都渋谷区神南一ノ一ノ一・岸記念体育会館内・日本バドミントン協会出版局ユ杯係

「みんなでスポーツを！」

運動を推進するためのアマチュア競技の映像等の使用・研修会・座談会・講演会等へ参加する場合の手引き

（財）日本体育協会アマチュア委員会

（趣旨）

いま本会は、スポーツの振興をはかるため、競技力の向上は勿論、各年齢層にわたるスポーツの普及を目ざして「みんなでスポーツを！」運動に取組んでいる。これを強力に推進するためには、本会、各加盟競技団体、各地方体育協会がともども協力して事業・活動を展開する必要があるが、同時にマス・メディアを通じてのPRは、最も強力なものと考えられる。しかし、本会の現状では、独力でその成果を十分にあげるということは非常にむずかしい。この運動を進めるには、どうしても国民各層からの広範な理解と支援・協力を獲得していかなければならない。

こうしたスポーツ界外部との理解と支援・協力関係を確立して「みんなでスポーツを！」運動を展開することは、スポーツへの関心を高め、競技力を向上させ、普及発展させる上で大きなプラスとなる。一方、これらの善意の協力と支援に対して、たとえば視覚媒体の場合、一定のスペースに協力会社名を明記するなど、運動の本質をそこなわない範囲で十分な配慮を加えることを考える必要がある。ただ、これらの相互的な友好、協力関係を適切かつ永続的に維持していくには、まず一定の原則と基準を定め、これを尊重したPR活動展開のレールを敷かなければならない。これを怠るならば、せっかくの善意であっても思わざる誤解を招く結果となったり、あるいは一方的に商業主義にじゅうりんされたとして世論の糾弾をうけかねない。したがって、本委員会としては、「みんなでスポーツを！」運動が正しく展開することを側面的に支援するという立場から、本手引を作成することとしたのである。

一、行使する場合の原則

㈠(財)日本体育協会およびその加盟団体のアマチュア規定、国際オリンピック委員会（IOC）オリンピック規則、規定二六条およびその細則（参加資格規定）同規則第一条、第二四条、第三三条ならびに各当該国際競技連盟（IF）のアマチュア規定等の諸規定を遵守すること。

㈡アマチュア委員会統一見解（昭和五〇年六月三〇日）に示された各事項の範囲内であること。

㈢アマチュアスポーツの普及、振興に賛同し、スポーツマン精神とオリンピック運動「みんなでスポーツを！」運動の啓豪に役立つものであること。

㈣(財)日本体育協会アマチュア委員会および当該競技の日本体育協会加盟競技団体の認可を受けること。

二、使用する場合の手続き

㈠使用希望の申請を審査し、可決を決定することは、(財)日本体育協会アマチュア委員会およびその加盟競技団体の独占的権

限である。審査の基準は「アマチュア委員会統一見解」第五、七、八項による。

㈠申請書類に具備すべき条件

㈠使用希望映像内容（競技名及び競技会名、映像の種類、スチール・ムービーの別）

㈡使用目的及び内容（レイアウト及び使用映像のコピー、シナリオ等できるだけ詳細な資料及び作成数量等）

㈢使用期間

㈢手続き経路

㈠支援者からの申請は日本体育協会総務部を窓口として、日本体育協会アマチュア委員会ならびに当該競技の日本体育協会加盟競技団体に提出し審議決定するか、または加盟競技団体に提出されたものは同競技団体から日本体育協会総務部を経て日本体育協会アマチュア委員会に提出し審議決定する。

㈡前項の場合以外にアマチュア競技者の映像を一般出版物の記事等に使用するとき、またはアマチュア競技者が研究会、座談会、講演会等に参加するときに、それが日本体育協会ならびに当該加盟競技団体のアマチュア規定に反しないと見做される場合でも、それが宣伝に利用される場合もあるので、その競技者あるいは役員の属する団体（日本体育協会・同加盟の競技団体あるいは地方体協）の了解をあらかじめ得る必要がある。

㈢日本体育協会はアマチュアスポーツ振興の協力団体である日本アマチュアスポーツ協力会、日本スポーツ視聴覚協会と協力して「みんなでスポーツを！」運動を進めており、競技映像の使用についても、あらかじめこれら協力団体を経て申請することがのぞましい。

三、行使する場合の手引

㈠アマチュア競技の映像等の使用

Q―1 映像の限界は？

A ㈠競技者が競技中、練習中（競技会の開閉会式、表彰式を含み、以下競技中という。）であるものを原則とし、ことさらに演出、演技したものは許されない。（競技者がそのプレーを真険に行なっているところを表現する映像、またはスポーツの普及と教育的見地から好ましいと判断される映像とする。）

㈡プロフェッショナル競技者と同一画面にある映像は許されない。

Q―2 ポスター、カレンダー等視覚媒体の映像と支援者の使用しうる範囲（スペース）は？

A 競技中の映像と支援者の使用する部分とを明確に分離し、支援者の使用する部分は最大限二〇％までとする。

映像の中には日本体育協会あるいはその加盟競技団体が指定する承認番号または承認を示すための文字を必ず明記しなければならず「みんなでスポーツを！」の標語を入れることがのぞましい。

Q―3 支援者の使用部分に表現しうる範囲は？

A アマチュアリズムの尊厳と競技者の誇りを傷つける表現は絶対に許されない。会社名、商品名、スマートな字句等で支援者の名誉を保持するよう努められたい。支援者のための図柄または文言が競技中の映像とことさらに関連づけられる誤解を与えるおそれのある表現はさけなければならない。

Q―4 映像中の競技者の使用する用具等についている商標等については？

A あまりにも明瞭なものは消去するなどの修正処理が必要である。

Q―5 映像とその写真説明的コメントの関係は？

A 〝この写真は○○対○○の試合風景です〟など競技内容の事実説明は許される。

〝この競技のユニフォームは○○製です〟〝私もおすすめします○○バット○○○〟などのコメントは一切許されない。

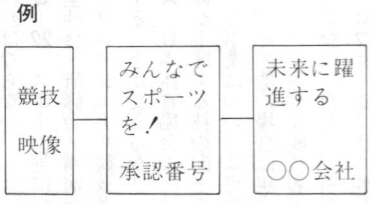
Q―6 競技指導用の教材として、記録として、ビデオテープ・フィルム、スライド等により公開することは？

A その映像に出る競技者が属する加盟競技団体の了解を得られれば使用できる。

Q―7 コマーシャル・フィルムとする場合どんな表現まで許されるか？

A 競技の映像フィルムと支援者名を表示するフィルムの間に「みんなでスポーツを！」および所定の承認番号（Q―2の解答で記したもの。以下同じ）を示したのみのフィルム部分を原則として二秒間入れ、競技映像部分とコマーシャル部分とを明確に区別して使用する。

例



Q―8 画面に付随するナレーションとの関係は？

A 競技者自身ナレーターとなることは原則としてできない。（競技者がナレーターを職業としているような特殊ケースについてはその都度審議する）

Q―9 PR映画（広報映画）に使うことはできるか？

A 映画内容と広報部分を明確に分けるとともに、製作の企画および編集段階で日本体育協会および当該加盟競技団体の承認を必要とする。

この場合もそのプリントのタイトル部分に所定の承認番号を明確に示さなければならない。

Q―10 支援者のPR用出版物、パンフレット等に使うことはできるか？

A 映像を表紙に使う場合、本文に使う場合共に競技中の映像を使うこと。

映像とPR部分は明確に区別し、本文中は頁を分けて製本すること。

この場合も映像使用部分には所定の承認番号を明確に示さなければならない。

特に使用する映像が国際競技のものあるいは個人の氏名がわかるものについては肖像権、版権あるいはその者のプライバシー侵害等の問題があるので、日本体育協会および当該競技団体の承認をうける際特に注意を要する。

Q―11 一般の雑誌、週刊誌

等報道性のある出版物に記事として競技者の私生活の映像は使用できるか？

A 使用する映像の内容により、日本体育協会あるいは当該加盟競技団体のいずれかの了解を受け、かつ、競技者個人の承諾をうければ使用できる。

ただし、あくまで個人の資格で扱うこと。

Q—12 前項質問と同様の場合で競技者の現役以前または以後の映像は使用できるか？

A Q—11の解答と同様

㈢アマチュア競技者の映像その他を商品化することについて

Q—13 競技者の映像を商品化することはできるか？

A 一般商品には許されない。ただし、教育用品（例えばノート・下敷等）として青少年のスポーツ指導に好影響をあたえるものには特に許される。

この場合も商品の映像部分に所定の承認番号を明確に示さなければならない。

Q—14 商品のブランドネームに競技者の氏名を使うことは？

A できない。（例えばヤマハ・カサヤ型スキー）

A できない。（例えばカサヤ・ブランド・スキー）

Q—15 商品のペットネームに競技者の氏名を使うことは？

A できない。（例えばヤマハ・カサヤ型スキー）

Q—16 商品のラベルパッケージに映像やサインを使うことは？

A いずれも使えない。

㈢アマチュア競技者の研修会・座談会等への参加

Q—17 特定の競技会への出場参加は？

A 支援者・協力者の要請により模範競技等を行なう場合は当該加盟競技団体の了解があれば出場できる。

Q—18 支援者がスポンサーとなり「○○競技会」を主催することができるか？

A 公式の競技会は当該競技団体が主催者でなければならない。したがって、支援者は共催者となる。

この様に共催の形をとるものについてのみ、出場できる。ただし、公式競技会への支援者の参画は、後援・協賛の形がのぞましい。

非公式の競技会を開催する場合は当該競技団体と充分な協議を行ないその指導をうけることが必要である。

Q—19 支援者の費用負担で開催される行事に競技者が参加し、競技の指導、コーチに当ることができるか？

A その内容により参加できる。この場合当該加盟競技団体の了解を得ればよい。参加の際の旅費日当等の授受については当該競技団体の規定した額の範囲内であること。

Q—20 競技者がレクリエーション大会、運動会あるいは専門外の競技に参加することはできるか？

A もちろんできる。ただし、これらの催しにプロフェッショナル競技者、芸能人等が参加している場合、例えばこれらの人が父兄参加のような形で参加している等作意的でない場合は同一の場でプレーできるが、概してプロフェッショナル競技者と同一の場でプレーすることは主催者の宣伝に利用されたり、アマチュア本来の目的にはずれた形で報道され利用される恐れがある場合は認められない。

したがって内容を事前にその競技者の属する加盟競技団体に提起し了解をとる必要がある。

Q—21 スポーツ競技に直接関係のない行事等への参加、出場についても規制されるものであるか？

A 内容に応じ審査する必要があるので、日本体育協会あるいは当該加盟競技団体に申し出、必要あるものについてはそれぞれの了解をうけるよう注意すること。

公的な行事への参加・出場は認められる。いずれにしても出場依頼が個人の資格によるものか、競技者の名声利用をねらいとしたものかよく判断して決めなければならない。

Q—22 スポーツ等についての座談会・研修会・講演会等にプロフェッショナル競技者と同席することができるか？

A 日本体育協会または競技団体が主催する技術向上を目的とした事業については可能であるが、その他の場合は現役のプロフェッショナル競技者とは同席できない。ただし、引退した元プロフェッショナル競技者の場合は当該加盟競技団体の承認のみで許される。

Q—23 サイン会の出席については？

A できない。ただし日本体育協会またはその加盟団体（地方体協を含む）の主催するものはその限りではない。

㈣その他

Q—24 競技者が新聞・雑誌・本などに執筆することは？

A いずれの場合でもその競技者の所属する競技団体の事前の承認を得れば執筆できる。ただし、オリンピック競技大会等においてIOC等の特殊な指示のある場合はこれに従う。

Q—25 競技者の手形・足形などを使用することは？

A 興味本位、名声利用のような方法あるいは宣伝利用に使うことは許されない。ただし、スポーツの学術的研究等の目的で使われる場合は当該加盟競技団体の了解を得れば使える。

Q—26 映像を立体化したものについては？

A 胸像、レリーフ等にして他に利用することなく保存する場合は問題ないが、これを商品化して販売したり、宣伝に使用することは許されない。

（注意事項）

㈠以上はこれまでおこった事象をもとに一応整理したものであるが、アマチュア問題はこの他にも微妙なものがあり、慎重に取扱わなければならない。よって競技者の映像使用等については、必ず日本体育協会アマチュア委員会または加盟競技団体に密接に連絡の上とり進められたい。

㈡以上の手引きは通常アマチュア競技者として承認可否の範囲を記した。

しかし、競技によって各国際競技連盟（ISF）のアマチュア規程が異なり以上の手引きより強く規制する競技もある。その場合は国際競技連盟の規制が、この手引きよりも優先することになるので充分注意する必要がある。

このマークを語らずに

「世界の日本」は語れない。



NO.B-75〈エリート〉
モスグリーンメタリック（ケース付）
フレーム価格￥5,000



NO.B-73〈オールマン〉
ブルーメタリック（ケース付）
フレーム価格￥4,500

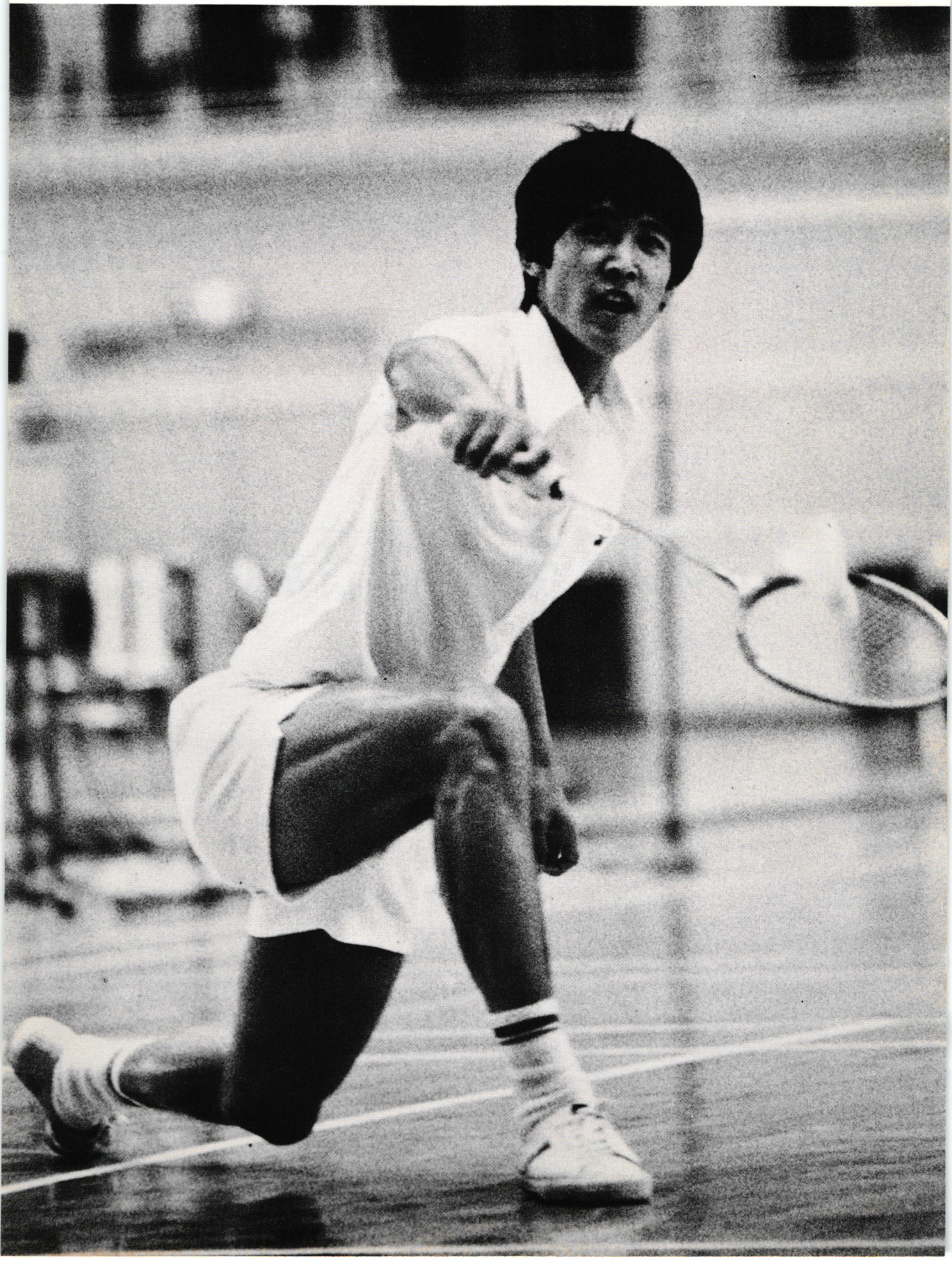
日本バドミントン協会推薦

カワサキラケット

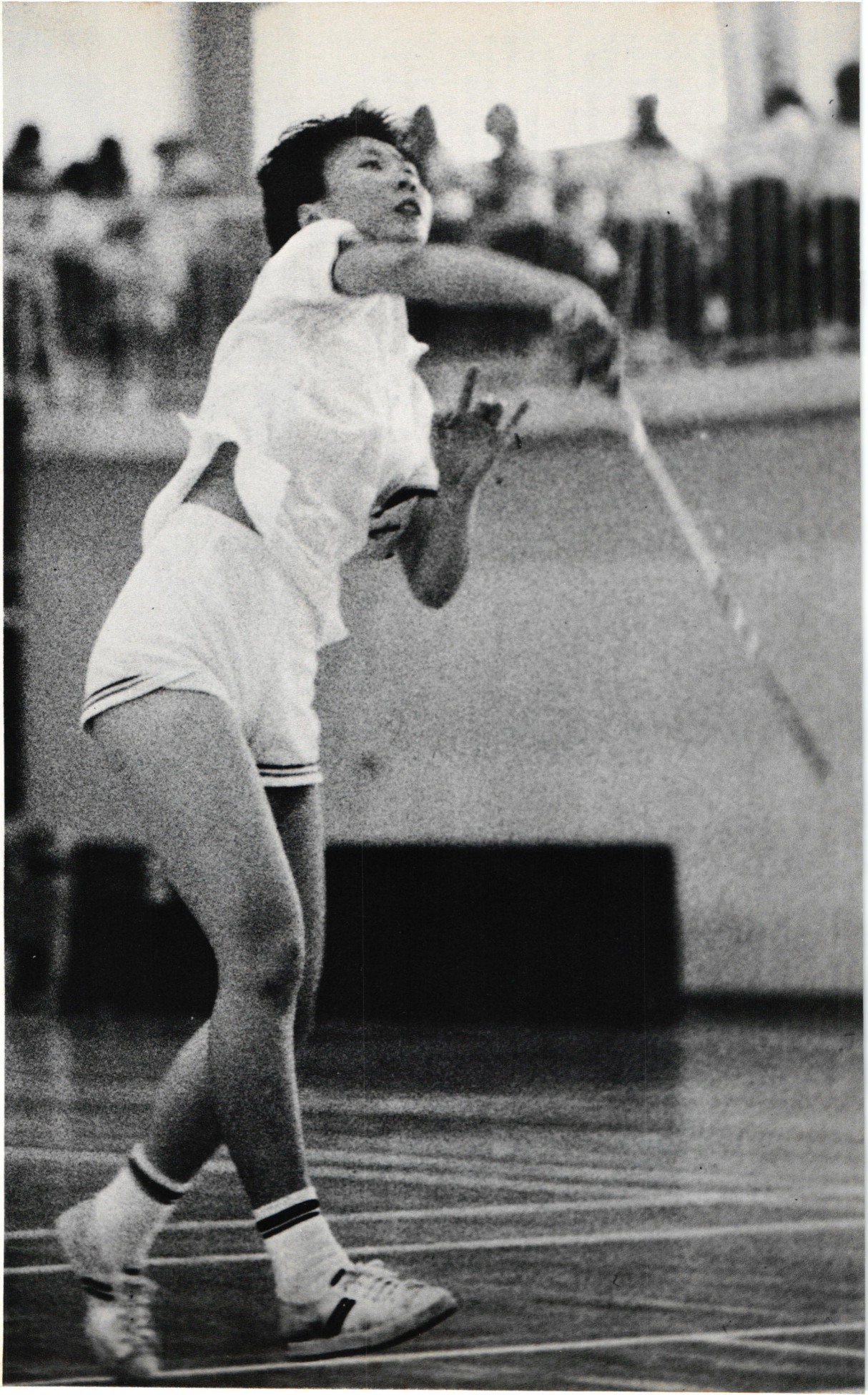
河崎ラケット工業株式会社

☆男子シングルス・チャンピオン
宍戸隆夫（塩釜）

定安したフットワークと見事なインサイドワークで栄冠を獲得した



☆女子シングルス・チャンピオン
石川好子（四条畷学園）



長身からの豪快なプレーで一ゲームも落とすことなく優勝した。そして団体・ダブルスとともに三冠王を達成した。



騎馬戦で〝荒馬〟に―石川好子

騎馬戦で〝三冠王〟

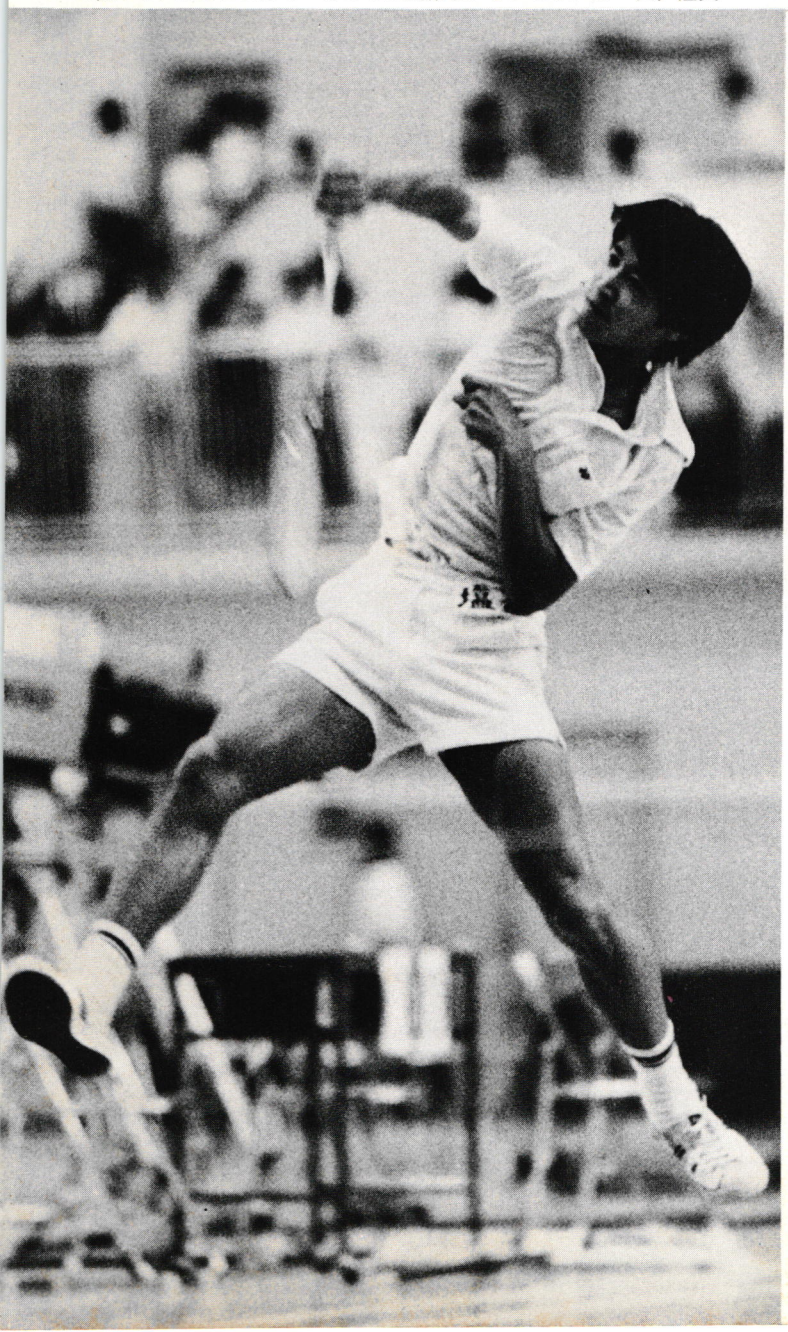
バドミントン女子で大阪・四条畷学園高が団体、個人シングルス、個人ダブルスと三つのタイトルを独占した。四十六年から今年まで六年間で〝三冠〟を取り損なったのは一昨年だけというから、通算五度目の〝三冠王〟。ちょっと破れそうもない記録。

私立の同学園は小学校から短大まであり、引き続いて同じ指導者の下でバドミントンが続けられるのが、他校にはみられない強みとなっている。学校やPTAの応援もものすごく、年間二百万円もの部費が集まる。もう一つ見逃せないのは片岡輝明監督（三七）のスパルタ教育。「うちの部員は家でチャホヤされているお嬢さんがほとんど。これでは勝てない。そこで野性味を植えつけるため合宿で食事を抜いてひもじい思いをさせたり、騎馬戦をやらせている。これがきいているようです」という。

チームの中心となった一六四センチ、五七キロの石川好子（三年）もおとなしい娘さんだったそうだが、騎馬戦にもまれていつしか「荒馬」に変身したようだ。昨年ダブルスに優勝しているが、今大会ではコート一杯に飛びはね、走り、団体優勝の立役者になったばかりか、ダブルス、シングルスにも圧勝した。三つのメダルをかかえて「やっと念願がかなった」とうれし泣き。「荒馬」も、はじめて普通の娘さんにかえった。

（8・7朝日）

三位ぐらいにはいれたら…どころか立派なチャンピオンに―宍戸隆夫



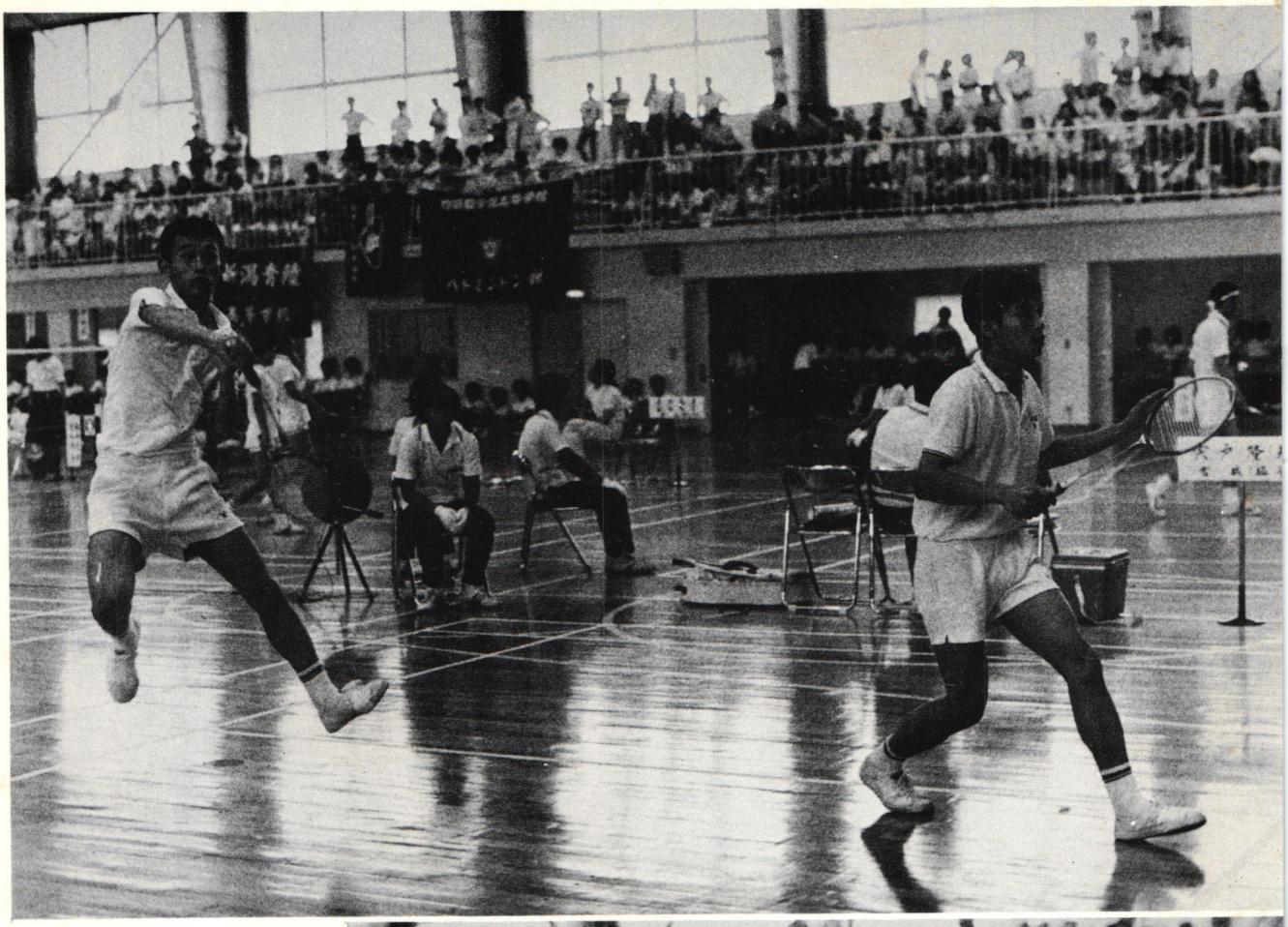
日本一土産に帰県

全国高校総体のバドミントン男子シングルスで見事チャンピオンになった宍戸隆夫選手（塩釜）が、七日夕帰県、賞状と優勝メダルをお土産に河北新報社を訪れた。

宍戸選手は「みんなに優勝しろといわれ責任が重かったけど今はホッとしたという気持ちです」と語りにっこり。同行の菅原俊男バドミントン部顧問、渡辺正喜コーチに「こいつ、昨夜は遅くまで旅館でチームメートとおしゃべりをしていたらしい。優勝してやっとリラックスしたんでしょう」と冷やかされ、テレ臭そうに笑っていた。

宍戸選手は「三位ぐらいまでに入れればと思っていました」と、控え目だが、渡辺コーチらの期待は「もちろん優勝」。第一シードだったため、ライバル選手たちに見つめられ、準決勝あたりからは手のうちを知られて苦しかったという。「まだ優勝の実感はわきません。今晩家に帰ったらあるいは……」。意外なほど高ぶったところがなかった。バドミントンの魅力を聞いたところ「緩急の妙味というか、独特のリズムが好きなんです」と語った。

（8・8河北新報）





☆男子ダブルス・チャンピオン
上原　明・平野勝彦（高松商）

抜群のセンスとコンビネーションで優勝。将来が楽しみ。



☆女子ダブルス・チャンピオン
石川好子・平久美子（四条畷学園）

石川の強打と平のスピードがうまくかみ合って決勝では圧勝、平のカンのよさが光った。

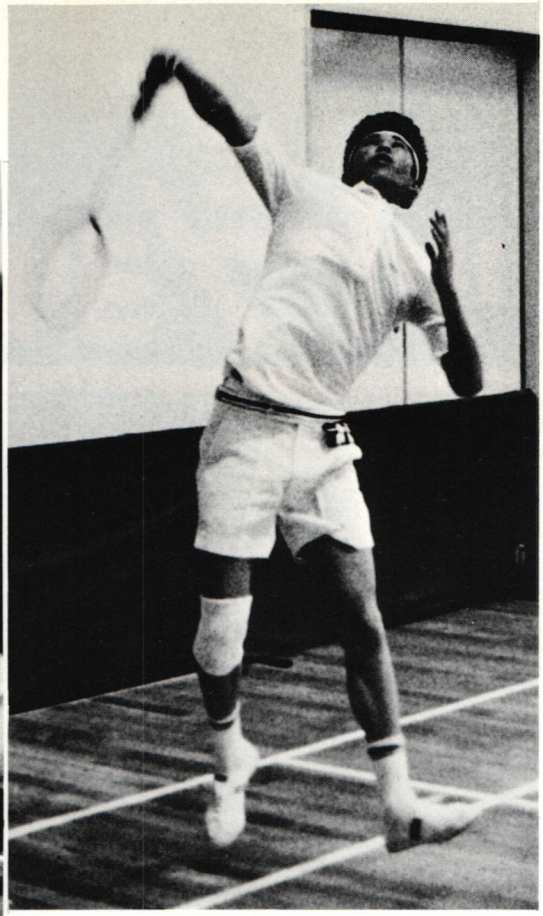


☆女子ダブルス・準優勝
青木恵子・藤井良子（新潟青陵）

決勝まではうまい試合運びを見せたが，決勝ではやや足が止まってしまった。しかし最後の一球までシャトルにくいついていた。

一服した時の楽しみ

◇会場の中野市民体育館入り口ホールで、市内観光写真展と市民祭写真展が開かれ、県外選手や役員たちに好評だ。この作品は中野市などが昨年市民などから募集したうちの入選作品三十点。県外の選手たちも「試合の合間に、中野市内の観光地や市民祭のようすを知ることができる」と喜んでいた。（8・4信濃毎日）



男子シングルス・準優勝　諸多博之（奈良一条）

男子シングルス・3位　北橋　進（比叡山）



ハルトノ選手が観戦

中野市のバドミントン会場に六日、バドミントン世界男子チャンピオンのルディ・ハルトノ選手（インドネシア）がひょっこり姿を見せ、高校生のプレーを熱心に観戦した。ハルトノ選手は七歳のときから英才教育を受け、十七歳で全英男子個人選手権に初優勝して以来、全英選手権で連続七回、通算八度優勝、ことし春のトマス杯にも参加して優勝している。「これまで四回来日しているが、長野は初めて。日本でもバドミントンが盛んであると聞いて今回は高校生たちの試合ぶりを視察に来た」と語り、「会場と運営が立派だ。選手も非常にいい。コーチに恵まれたら二、三年後には世界的な選手に育つのではないか」と男女シングルスのチャンピオンをほめていた。本人はこの大会で模範試合をしたかったらしいが、日本バドミントン協会役員は「彼はプロ」と認定し〝世界の技〟は見られず、会場のファンは寂しそう。（8・7信濃毎日）



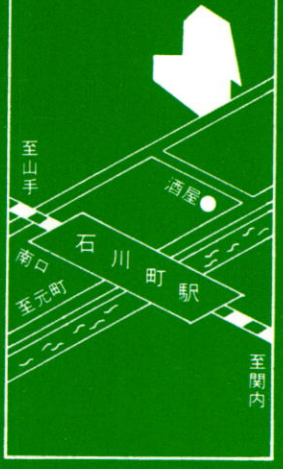
女子シングルス・準優勝　河村茂美（四条畷学園）

ラケットショップ元町

●横浜店

☎045-651-2020

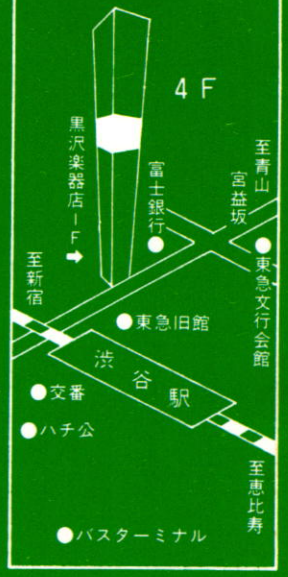
バドミントン
テニス
プロショップ



●渋谷店

☎03-400-7390

世界で初めての
バドミントン
プロショップ



第3回京都オープン家庭婦人バドミントン大会

ママは若さに自信
44チーム、350人が熱戦

昭和51年7月25日
於・京都府立体育館





汗を流し
がんばるママさん

要項案内では1部、2部、3部に分け、各部にて3~4試合実施を目途にゾーンリーグを行ない、決勝を行なう予定であったが、申込み受付を完了してみると、昨年の1.6倍、44チームの参加、しかも体育館のコート面数が昨年より4面少ないとあって、大会本部は急拠の策として、2部および3部は優勝を3本設け、各チーム最少3試合を行なうリーグ編成を行ない実施することにし、一応好結果を得た。

本大会は家庭婦人の立場をくみとり日帰り参加にしているところから運営面では、特に終了時間に気をつかった。

戦績のほうは1部は若手、粒ぞろいの大阪が2連勝の東京をおさえて優勝した。京都のホープ舞鶴F・Bはチームエースの橋本さんが急用で大会会場へ来ながら帰宅という不幸もあって宿願が果たせなかった。大阪、東京の他は実力伯仲で、好ゲームが展開された。

2部は西華（奈）、東京2V、倉梯（京）が順当な勝ちを収めた。2部の組み分けは昨年までの実績、申込書の競技歴により判断し行なったが、実力はバランスがとれており、各リーグとも1部同様好ゲームが展開された。

3部は、主婦になられてからバドミントンをはじめた方を主体にしたチームということで経験の浅い方たちのリーグであるが、試合内容は練習の成果もあってか、かなりラリーが続いた試合もあり、1部、2部同様、球に食いついていくファイトは見事なものであった。

大会参加賞として黄の台地（円形）の上にバドミントンの人形表示と 3rd KYOTO OPEN MAMASAN BADMINTON 1976 をまとめたワッペンを配布した。（大きさ7.5cm径）

本大会のため遠来の方はかなり早朝の出発で参加してくださり、大会本部はこの熱意に敬意を表します。

今後大会参加のみでなく、交流の場（たとえばレセプション）や、市内見物の機会等をもてるようなことも考えていく必要があるように思われる。できれば大会参加もお子たち連れで上京していただき、1日はバドミントン、他は京都の名所旧跡めぐりのプランを組んでいただくようになれば、別の意味でも意義が高まるように感じた。

ユニフォームの背面にチーム名と選手名の表示を採用したところ100%が実施してくれ、運営面および観客より好評であった。

（大会委員長・野村嘉明）

1. 参加状況

府県名	第1回 昭和49年度				第2回 昭和50年度				第3回 昭和51年度			
	1部	2部	3部	計	1部	2部	3部	計	1部	2部	3部	計
東京	1	−	−	1	1	−	−	1	1	1	1	3
愛知	1	−	−	1	1	−	1	2	2	2	2	6
和歌山	−	−	−	0	−	1	1	2	−	1	1	2
奈良	1	1	−	2	1	1	2	4	−	2	3	5
大阪	−	−	3	3	1	−	3	4	1	4	4	9
兵庫	1	1		2	3	1	2	6	1	2	1	4
京都	2	4	4	10	2	3	3	8	3	6	6	15
計	6	6	7	19	9	6	12	27	8	18	18	44

2. 各リーグ入賞

	優勝	2位	3位
1部リーグ	大阪家婦クラブ(女)	西宮ファミリー(男)	豊田同好会(男) 東京2V(女)
2部Aリーグ	西華クラブA(奈)	須磨クラブ(兵)	M・B・C－A(大)
2部Bリーグ	東京2V－B(東)	長岡クラブB(京)	青和クラブA(京)
2部Cリーグ	倉梯クラブA(京)	芦屋クラブ(兵)	豊中クラブA(大)
3部Aリーグ	東京2V－C(東)	西華クラブB(奈)	灘クラブ(兵)
3部Bリーグ	倉梯クラブB(京)	M・B・C－B(大)	青和クラブB(京)
3部Cリーグ	守口クラブB(大)	さっき同好会B(愛)	平城クラブ(奈)

特別寄稿＝夜明けの時代をふりかえって――2

わが国バドミントンの発祥と協会発足の回想

広田兼敏・日本バドミントン協会副会長

本稿は、現在日本バドミントン協会副会長・神奈川県バドミントン協会名誉会長である広田兼敏氏が、氏のバドミントンとの永年にわたるご経験から、日本のバドミントンの発祥のもようと、協会の発足について綴ったきわめて貴重な記録である。

▼バドミントン協会の創立

戦後の発展は、現日本バドミントン協会にも資料がある如く、横浜、東京を中心とする関東側と、大阪、神戸を中心とする愛好者が最初はYMCAコートを中心に練習を開始、昭和二十一年（一九四六）十一月の第一回国民体育大会を機会に、筆者が関東側を代表して西下し、大阪YMCAにおいて、戦前よりの同志全員と会合、関東側の案に全面的に賛成を得、ここに待望の日本バドミントン協会が創立、席上、全員の希望により筆者が初代の理事長に推された。

当時は、バスケットボール、バレーボール、ならびにフェンシングの復活に、また、新しくフォークダンスの普及事業に多忙であったことと、横浜在住で何かと不便であることから、暫時東京クラブ員に依頼、当時は全くの過渡的段階であり、協会規約等も至極簡単で一、二年を過ごしたが、日本体育協会、ならびに文部省体育課等よりの依頼等もあり、山田会長（当時東京都副知事）の下に第一回の全国総会を東京において開催、文部省の忠告等も考慮し、全国代議員の切なる希望を入れて、協会を全く新しく改革、ここにはじめて名実共に待望の日本バドミントン協会が発足した。

全国各都道府県に呼びかけて、支部協会の設立へ尽力し、また加盟を得、全支部と密接な連絡を計りつつ、二十三年十二月二十二日付をもって、正式に日本体育協会への正式加盟（記念すべきこと）、翌二十四年、東京で開催された国民体育大会に正式種目となり、続いて、関東学生連盟、関西学生連盟、日本学生連盟、日本実業団、高等学校連盟等の創立に尽力、一方、二十三年開始された全日本選手権大会も、第二回横浜大会より、知事杯、市長杯、ダーギン（YMCA名誉主事）杯、ドレーバー（米海軍大佐）杯、その他の優勝カップも寄贈され、種目も、ジュニア、シニア、ベテラン（四十歳以上）、ミックス、女子部等、全種目を加え、二十七年三月、小生、数年前より苦心交渉中の待望の国際連盟（IBF）に正式加盟（正に記念すべき年である）の吉報を受け今日の発展をみるに至ったのである。

▼わが国最初の女子バドミントンクラブ

わが国、横浜YMCAの女子運動部員が最初にバドミントンの練習を始めたのは昭和十六年からである。当時、青空クラブと称して、横浜日本大通りの三井物産の女子社員を主体とする婦人有志のクラブで、当時、YMCAの体育主事（筆者）を中心として婦人デンマーク体操の練習を主として、その他にバレーボール、ハイキング、スキー等、レクリエー

ションスポーツ等も生活に入れて、毎週二回、新しい職業婦人としてのお互いの健康向上を計っていたが、男子バドミントンクラブ員の盛んな動きに刺激され、このバドミントンの練習を始めたのである。

最初は軽いレクリエーションの一部として取り入れたが、いざ実際にタッチしてみると、あらゆる戦法と身体の動きを必要とするこのゲーム特有の素晴らしさを認識して、間もなくチームを組織して正式の練習を始めるようになったのである。この頃は既に外人クラブ（YC&AC）においては、当時の会長、ヘセルタニ夫人や、ミス・エマールを始め中華婦人等、数名の婦人プレイヤーがおられ、ミックス戦等を楽しく交していたのを見受けたが、日本人としてクラブチームを組織して、筆者をコーチとして毎週正式に練習を始めたのは、このYMCA青空クラブが最初であったことを記録しておきたい。この青空クラブのうち、五、六名は終戦後も練習を続け、対東京部との親善定期戦ならびに協会全日本の選手権大会にも出場、ほとんど全員が上位成績を記録している。三浦富美子、佐竹芳枝、池端綾子、小川清子、鷲本みちわ、加倉井文枝、加藤喜子、川端千枝子、中村たき、赤山輝子、飯尾宏子、他数名のクラブ員が活躍した（わが国婦人クラブの最初の方々）。

終戦後のわが国最初の女子チームを再建、憲法発布記念大会、神奈川対横浜の対抗戦、県協会再結成大会、全関東大会、市民大会、その他の試合に参加、単・複、ミックス等、上位、一、二、三を占めて大活躍したが、これらはわが国女子バドミントンの先駆者としての使命を果たしてくださったこととして感謝し、また貴い記録として銘記しておきたい。

さて、前記YMCA対横浜YC&AC（外人スポーツクラブ）はバドミントンの正式の対外人試合としては最初であり、両軍はその秘術を尽して力戦、かつて見ないバドミントンの戦法が展開され、以後、この最強の両チームにより取り交わされた試合は、これは両軍の親善のみでなく、わが国バドミントン技術の向上発展に多大の貢献をしたので、第一回の試合スコアを記して後々に伝えたいと思う。

《昭和十四年十二月十五日（金）夕六時半より　於根岸YCACコート（外人）》

〈シングルス〉

YMCA　YC&AC

佐藤(15)——対——(8)ヘセルタニ

広田(15)——対——(3)ワットソン

高橋(15)——対——(5)グロフィス

広田(15)——対——(1)スターク

〈ダブルス〉

広田・兵藤(15)——対——(4)ヘセルタニ・グロフィス

佐藤・高橋(15)——対——(8)ヘセルタニ・スターク

▼バドミントン協会の充実

春秋のリーグ戦、選手権大会等の必要から昭和十三、十四年は申合わせによる仮設の協会の下に各種の行事を遂行してきたが、昭和十五年に入り正式協会の設立を計り、その委員会を昭和十五年五月十五日（水）午後六時より横浜YMCAにおいて開き、YMCAより提唱した筆者、佐藤、山本、福本の四氏、コロムビア、ナルト、古河電線より各二名が出席、県協会としての充実について協議、続いて協会第一回の理事会を昭和十五年五月二十二日（水）午後六時より、YMCAにおいて開く。出席者は、理事長広田兼敏（YMCA）、理事福本渉（YMCA）、理事中沢七郎（ナルト）、理事伊藤隆文（コロンビア）。この伊藤氏はコロンビア本社の部長（現在引退）、理事福本鹿三郎（古河電線）、他に委員として、山本孝二、佐藤保、兵藤昌彦の三氏（いずれもYMCAクラブ員）、前記の事項を協議決定する。

当時は他県にバドミントンのプレーヤーもなく、従って協会等もなく、これらはわが国における最初の、また、戦前ただ一つの県協会でもあった。

次に最初の春秋リーグ戦を書き加えておくが、前記第一回のリーグ戦は前記四チームにより六月十七、二十、二十二、二十四、二十七日の五日間にわたり、YMCA体育場において盛大に催され、次の成績をもって終了する。

一位＝YMCA（三戦全勝）、二位＝ナルト（二勝一敗）、三位＝古河電線（一勝二敗）、四位＝コロンビア（零勝三敗）

これらも戦前におけるわが国バドミントン発達史の一ページと考えられるのである。

第26回全日本実業団バドミントン選手権大会を顧みて

背面チーム名の表示について

野村嘉明・全日本実業団バドミントン選手権大会競技副委員長

去る6月25日～30日の間藤沢市で開催されました全日本実業団バドミントン選手権大会で、ユニフォームの背面にチーム名の表示を採用し、バドミントン競技スタイルの新時代を迎えました。

バレー、卓球、バスケットボール等他種目競技からすれば今さらのように思われるかも知れません。

バドミントンの競技スタイルは、大会運営規程第39条に「着衣はブレザーコートを除き全て白一色を原則とする」とあります。これは、白のもつ純粋、潔白、清潔のイメージから、全体として何よりも品位を保ちうるスタイルの色として採用されているもので、これはそれだけに格式があるともいえますが、各種大会に目を向けてみますと、多数のコートに白一色の多数の選手がネットに対して入りみだれて競技をしている実態をみると、観客側に立ってみれば全く誰が競技をしているのか不明であるという観客無視の状態が実情ではないでしょうか。

試合を観る時、たとえコート上ですばらしいプレーが展開されたとしても、不明選手のプレーを追うことは観客にとってこれほど興味を半減することはありません。

現状ではコート上の選手を知るには、コールに注意するか、顔見知りであるか、誰かに尋ねるかしないことには不明で終わってしまいます。

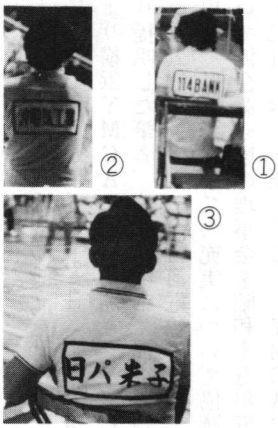
白一色でコートに入っている選手を追うことは、観る側に立ってみれば大変なことでした。

実業団大会にあっては応援に来た同僚、会社の応援団が、わがチームがどこで試合をやっているか全くわからないという声が近年高まっており、実業団の性格上からも思わしくない状態でした。

そこで日本実業団バドミントン連盟（全日実連）では、今大会よりユニフォームの背面にチーム名表示を採用し、観客の立場になって試合を見やすくすると同時に、選手のチーム意識を高めること、競技の進行をスムーズにすること（競技役員が選手の掌握が円滑になる）等のねらい通りの成果を得、好評をうけることができました。

この背面チーム名で、会社の同僚も応援団もわがチームの活躍ぶりが一目瞭然となり、試合の興味も倍加することになりました。今回は、採用してはじめての大会でもあり、義務づけはしませんでしたが、70～80％のチームがこれを採用し参加しました。

バドミントンが、一方でかなりの普及をしておりながら、観る側の立場にない競技スタイルであったため、一般との密着がなかった



①～③
枠内に文字をおさめた例

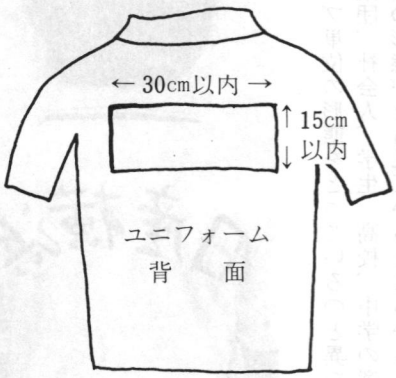
のではないでしょうか。現状ではバドミントンはやるスポーツになってしまっている傾向があり、観て楽しむ領域も開拓しなければなりません。各種大会もテレビ放映等が多くなっているところから、背面チーム名の採用はこういった意味で、きっと新分野を開拓してくれるものと思います。

実業団以外の選手で、これをみて「背中に文字を入れてもいいのですか……白一色の原則にふれないのですか」と心配してくれる方もありましたが、この経緯、ねらいを説明して納得してくれました。

競技用着衣の白一色という原則は、チーム名を入れることによって、そのことを犯したのではなく、白いユニフォームの上に新しいアクセサリーで試合効果をあげたわけであります。

競技用着衣については、各種目ともカラーの問題、競技運営上の問題は別にして、競技上品位を保つスタイルであることは共通したことであると思います。

一方日本の競技大会の形態は、世界各国が



■競技者着衣への
チーム名明示について

第26回全日本実業団バドミントン選手権大会参加選手の着衣（ユニフォーム）背面に，大会参加申込チーム名または略称チーム名を入れる。（アマチュア規則に違反しないこと）

字体の型式　大会参加申込チーム名，または略称チーム名。

字体の大きさ　横30cm，縦15cm以内とする。

字体の着色　黒・紺・赤の3濃色のうち，1色とする。

明示個所範囲寸法　左図のとおり。



⑥



⑦



⑧

④





⑤

④～⑧ははりつけ型
⑤，⑧は白布にすり込んだもの
④，⑥，⑦は染込（やきつけ）んだもの

クラブ単位の形態をとっているのと異なり、実業団、社会人、学生、高校、中学の選手権大会の形態がとられているところからも、各国にない独特のものを作り出して行く必要があるように思います。

背面チーム名の表示については、実業団の場合特にアマチュア規定に違反しない表示の必要があります。すなわち、商標登録社名文字、商品名等の表示はもちろん許せません。表示する個所については当初どこにしたら最も適当かいろいろと検討されました。胸につけるか、小脇につけるか（現在高校大会が採用）等もありましたが、競技用着衣が白一色という原則、競技に支障のないということより、背面に決定し、タテ15センチ、ヨコ30センチの範囲内で堂々と表示するようになったわけです。

この採用指示は、別掲の通り要項に添し、日本協会総会にて承認され実施の運びとなりました。

今回つけてきた背面チーム名表示の数例を別掲、紹介し、今後の参考にいたします。

チーム名を表示する以上、10～15メートル位離れた所からも判読できるものでないといけないと思います。今回のものの中には、文字が小さく見にくいもの、規定枠一杯で少々体裁の悪いものもありました。チーム名の表示についても会社名、職域名をどのように略称し表示するかもむずかしい問題です。字数が多くて見にくいもの、略しすぎてチーム名の表現が弱いものもありましたが、いずれも今後数年のうちに見やすいものに定着するものと思います。

工夫された一例としては**写真11**、**写真12**のように会社名の下または上に工場名（県名）を示したものは、事業所の所在を明確にし、どこの代表かを示しよかったのではないかと思います。

色については赤、黒、青の単一色と限定しましたが、これ以外の色もありました。

使用色は、やはり黒または青が多かったようですが、皆様やはり地味好みのようです。色については今後は会社の色もあると思われるので、単一色のみ限定し、何色でもよいようにしてはと筆者は思いました。

選手の一部の声を聞きますと、はじめてのこともあったのか、「てれくさい」「チームが強ければなあ……」「衣替えを必要とするので、ネームの取り替え方式は手間や」「これをつけたら悪いことできませんや」「頑張らんといけませんね」等の声がありました。前記のうち苦情の言葉も、この方式が定着すれば何でもない問題のように思います。

⑨



⑩



⑨⑩はシャツに染めつけた例（やきつけたもの）



⑬



⑫



⑪

⑪⑫⑬は工場名，地名を社名に合わせて表示した例

今回の採用ははじめてであったので、体裁については多彩でした。まとめて墨書きしたチーム名をぬいつけたもの、字型にて刷り込んだ布をはりつけたもの、ユニフォームに焼きつけた立派なもの、はりつけ布にチーム名をやきつけたもの等ありましたが、費用はユニフォーム込みで契約しているところが多く、費用ははっきりしませんが三～四〇〇円程度のようです。

一方これを行なうことで、会社から補助が出るようになったとか、補助の増額があったとか、ユニフォームを会社が作ってくれたとか、選手にしては結構な話もありました。

将来チーム名の下に番号を入れて、プログラムに氏名、番号を掲載すれば完全に観る側の立場になったものになると思います。

最近バドミントン競技用着衣について、カラーを取り入れ、目先をかえた商品を出すため、シャツのエリのカラー、シャツ、ズボン、靴下のカラー線の太さ、入れ方について、その良否が大会ごとに憂うつな問題をかもし出している折から、この背文字の実施は全くクリーンヒットでした。

この大会を観に来られた高校生、先生、大学生、家庭婦人の方で、私のクラブもぜひ採用したいといっておられる方もありました。これを機に一般への採用が取り入れられれば幸いかと存じます。全日実連においては、次回大会から義務づけられるものと予想されます。

なお、この大会を今後華やかに飾るものとして「クラブ旗」の掲揚が考えられます。各チームが大会会場をクラブ旗でうずめ大会会場に色を添えれば、大会ムードは一段と高まると思います。今大会でも派手な激励字句を取り入れたノボリ等の搬入もありました。これらの取扱いは、今後派手になればなるほど問題を生みそうであり、大会本部はこれらの取扱いについて考えておく必要があります。

次回大会は背面チーム名表示を義務づけると共に、クラブ旗の掲揚を奨励し、大会を盛り上げたいものです。

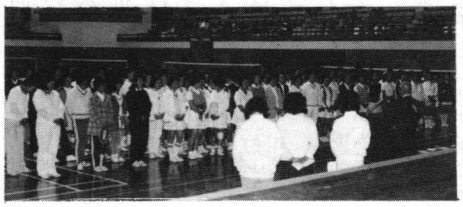
⑭～⑰ユニフォーム背文字をつけた選手のプレーおよびベンチ風景


⑭


⑮


⑯


⑰



いざプレー開始！

歓声渦巻く国際体育館

大会に参加して

愛宕尚代

長崎の円き港の青き水
ナポリを見たる
眼にも美し　　鉄幹

三月二六日、長崎の空はどんよりとして今にも泣きそうだった。国際体育館前の夾竹桃も、大きな蘇鉄も寒そうだった。が、体育館の中に入ると熱気と若やぎが溢れ早くも試合に備えて、フロアーを飛び交う数知れぬシャトルの乱舞に大会気分は横溢していた。

正九時、本田綾子理事長の大会宣言で、第二回長崎県婦人バドミントンオープン大会は始まった。参加人員二五四名。はるばる東京・大阪・富山・福岡・宮崎・熊本・鹿児島の友を迎えて地元バド婦人は勇躍した。

三〇年間、バドミントンの普及、発展に尽力され、五〇年度のスポーツ功労賞を受けられた婦人バドミントン連盟の金子義男会長の挨拶につづき、県バドミントン協会会長の来賓挨拶。

各クラブの紹介に移ると、拍手も一段と華やいでベテランも新人も紅潮して、にこやかなおじぎに親愛の情がぐんと湧く。

●多くの人に優勝のチャンスを与えること。

●全員に多くの試合数を持たすこと。

など、幹部の考慮で一二七チームを八コートに分けて、各コート別の優勝争いである。リーグ戦方式で優勝を決定する。一回戦でダウンのことが多い私にも、この方式は数回の試合に挑める幸運をもたらした。下に厚くの配慮をありがたく思う。

女性王国を絵に書いたような試合場。本日ばかりは坊やと御主人の黒点が彩りである。トレパン組、スカート派にキュロット愛好者。各層、各種に装いながらパートナーとはペアルックなど女性らしい気の配りをみせている。息もつかせぬ気迫でやりとりのコート。チャンス玉もまたチャンス玉でようやく返るコート。あざやかで目をみはらされる技巧派、腕におぼえの腕力型、素直に素直にのおとなし型。一分のすきもない守りもあれば、二人で同じ方向に走る守りもある。各コート、各クラスで熱戦の展開だ。

外はどうやら雨になったらしい。

試合中のママのコートに坐り込んで「お母さんと一緒でないとイヤ」と根かぎり泣き通した坊や。大きくなったらバドミントンの大物選手になれそう。

参加者の一人に金髪のイギリス婦人がいた。お孫さんもあるという彼女は、Cクラスの優勝をかち取って、「ベリー・ハッピーね」と相好をくずした。

優勝戦での圧巻は東京勢と地元ナンバーワンとの対決であった。声援の渦が巻く。一球一球に歓声と拍手の連続。館内は湧きかえった。

一六個並んだ優勝杯の輝きは、優勝者にはむろんのこと参加者にもこよなくうれしいものだった。優勝杯の授与で、ママについて出た幼な子にみんなは更に大拍手。この大会ならではの風景であった。

一六時、大会終了。雨のあがった長崎の空はすがすがしく、思いっきりコートを走ったあとの爽やかさは、バドミントンを知った「幸せ」を、また思わせるものだった。楽しい一日だった。今夕は大会に集まったバド仲間の各家庭で、お母さんの活躍が話題になることだろう。みんなが今夜見る夢は、強烈なスマッシュを打ち込んだ瞬間だろうか。ドロップを見送った悔の一瞬だろうか。それとも留守番をさせた家族のことだろうか。

コートが待っている。明日からまた、ランニングに、基本練習に精一杯汗を流そう。仲間との語らいも大いに楽しもう。

我らのバドミントン万歳。

▼各コート優勝戦の成績

一コート
島中・和田　21—10　江原・本田
（東　京）　（長崎平和ク）

二コート
林田・木葉　12—21　生野・梅崎
（長崎二和ク）　（熊　本）

三コート
大神・宮地　21—10　木下・堤
（福　岡）　（福　岡）

四コート
岩永・西川　21—5　山内・藤本
（諫早つつじク）（長崎ジュネスク）

五コート
福田・大渕　21—5　荻野・野中
（福　岡）　（佐世保水鳥ク）

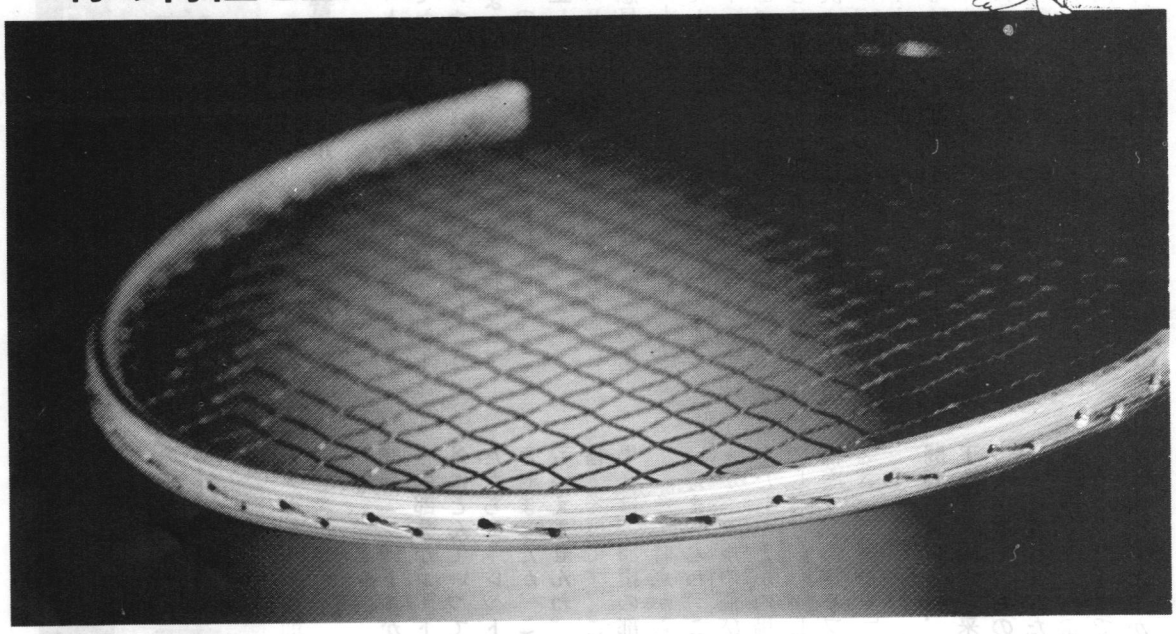
六コート
エリザベス・ヒンソン泉　21—11　平井・西本
（長崎インターナショナルク）　（長崎わかばク）

七コート
江口・坂田　21—2　馬場・田山
（佐世保桜ク）（諫早つつじク）

八コート
藤井・北村　8—21　増田・甲斐
（福　岡）　（熊　本）



竹の特性を生かした話題のバンブーラケット!!



竹製なればこそ発揮できる威力がバドミントンのプレーに適した材質の特性であることに着目して、その研究成果を集積、ここに今話題のバンブーラケット〈ハイ・トーマス〉が誕生しました。

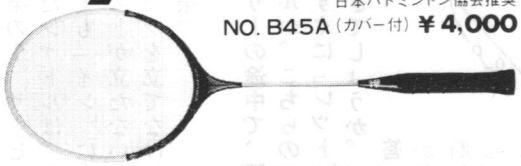
■竹と木の合板による強靭なフレームと細くて長いテーパーシャフトによる抜群の反撥力と反撥音。■薄いフレームに竹独特の強さとしなりがシャープな振りと動きを可能にします。■ガット張りによるラケットの変形が起らない。■ソフトグリップが手に良くなじみます。

バドミントンラケット〈ハイ・トーマス〉

Hy-Thomas

日本バドミントン協会推奨

NO. B45A（カバー付）¥4,000



株式会社ゴーセン

本　　社・大阪市東区農人町4　TEL. (06) 942 5816 代
東京支店・東京都台東区蔵前4 14 2 TEL. (03) 862 6576 代
福岡営業所・福岡市中央区薬院1 4 8 TEL. (092) 712 5247~8

理想のガット〈ウインテックス〉!!

Wintex Racket String

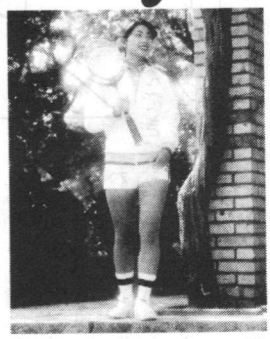
TOURNAMENT GAUGE
1.39mm for TENNIS　0.73mm for BADMINTON



弾力性・耐久性バツグンのステンレススチールワイヤー巻きの高級ガットです。

すばやい動きがいつもフレッシュ!!

Wintex WEAR



●カタログは、最寄の有名スポーツ用品店又は、(株)ゴーセンスポーツ用品部迄お問合せ下さい。

日本教職員バドミントン連盟編

審判に関する100問集 ④

第1章　シャトルに関する事例

問44　シャトルの落下点が、プレーヤーのかげになってわからなかったのですが、プレーヤーは「アウト」と自信をもっていうし、うそでないようなので、改めて、線審として「アウト」のコールとサインをしました。この処置は正しいでしょうか。

答　よくありそうなことですね。でも、プレーヤーの意見で決めてはいけません。この場合、線審としては、主審に連絡して「レット」とすべきでしょう。ただ、この場合、なんでも「レット」にするより、主審が明確に判定できる位置のものであれば、主審が判定してもよいでしょう。しかし、プレーヤーや観衆の意見で決めてはいけません。先にもいいましたように、線審はできるだけ体を動かしてでも、見やすい位置に移動して、しっかり落下点を見るように、平生から練習しておかなければいけませんね。特に、スマッシュは一瞬のうちにコートを横切ることになりますから、終始注意していなければ見あやまってしまうことになります。線審は、自己の受持ちラインに関しては、最終の判定者なのですからしっかりと落下点をみきわめ、「イン」か「アウト」かを即座に、しかも明瞭に示してください。

問45　シャトルがラリーの途中でこわれて羽根の部分がコートの内に、台の方がコートの外にとんでいってしまいました。主審として、ただちに「レット」を宣して、プレーをやめさせましたが、この場合「イン」も「アウト」もいえませんね。

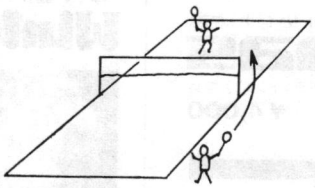
答　そうです。この処置でよいのです。この場合は、羽根の部分と台とが別々になったので、その時点から、もう正規のシャトルとはいえませんね。この他にも、完全につぶれたとか、正規の飛び方から考えて著しく変調をきたしたとかの場合は「レット」としてよいでしょう。しかし、羽根が一枚ぐらい折れた程度で、あまりフライトに変調をきたさないときは「レット」にする必要はないでしょう。

問46　プレー中、対手のシャトルがネットの下を通りぬけて来たのを、床につく前にラケットですくったので、そのプレーヤーのフォルトを宣しましたが、正しいでしょうか。

答　誤りです。（規則14条の5）ネットの下をくぐった時点でフォルトが成立しますから、もう床につくつかないは関係ありません。

問47　プレー中、シャトルがサイドラインをわって外に出たと思ったのですが、対手がこれを打ち返し、ポストの外側からこちらのコートに入りました。これは、ネットを正規に越えないのですから、フォルトですね。

答　いいえ、これはフォルトではありません。（規定17条の1）サービスの時は別ですが、打ち返したシャトルは、左の図のような状態ではいっても「イン」になります。そこで、正規にポストが立たないネットを張るときにはストリップを立てなければなりません。（規則2条）



問48　ラリーの途中で、隣のコートで打たれたシャトルが、こちらのコート内に入ってきました。すぐに「レット」を宣して、試合を中断すべきでしょうか。

答　「レット」にするかどうかは、慎重に判断しなければなりません。普通は「レット」にして問題ないと思いますが、折角、攻めまくっていた側にとっては、ラリーの途中でとめられたら不利になるわけですから、たとえシャトルが飛んできても、コートの隅などで直接プレーに支障がなければ、そのまま、そのラリーの終わるまでやらせる方がよいでしょう。ですから、プレーヤーが勝手に判断してプレーを中断すれば、そのプレーヤーのミスになる場合もあります。プレーヤーとして

主審が「レット」を宣するまでは、そのままプレーを続けなければなりません。プレー中の唯一の決定者は、主審なのですから。

第2章　サービスに関する事例

問49　サーバーがサーブしようとして、空振りしてしまいました。このときには、「フォルト」になりませんね。

答　そうです。シャトルがラケットにふれていなければ、フォルトにはなりませんから、もう一度サーブすることができます。しかし、これを何回もくり返しますと、競技規則14条4項にありますように、「フォルト」とされても仕方ありませんね。

問50　サーブしようとして、シャトルを落としてしまい、従って空振りもしなかったのですが、これは「フォルト」でしょうか。

答　以前に「フォルト」にしたこともあったようですが、それが相手を惑わすためのものでないと主審が判断した場合は、むしろ「レット」としてやりなおさせた方がよいでしょうね。

問51　試合前の主審のコールは長いので、「プレイ」のコールをしないうちにサービスがなされてしまい、対手も普通にレシーブしました。そのままで続けてよいでしょうか。

答　「レット」を宣して、もう一度「プレイ」のコールがかかってからサーブするよう注意してください。たとえサービスが正しく対手側コートに入らなくともやりなおさせてください。（規定25条）

問52　試合中、主審のコールを待たないで、サービスを始めてしまい、打ち合いが行なわれてしまいましたが、「レット」にした方がよいでしょうか。

答　審判員などの用意ができていないようなら「レット」にしなければなりませんが、何らゲームに支障のない場合は、あえて「レット」にするより、むしろそのまま継続させた方がよいでしょう。（規定25条）ただ、次のサービスがなされる前に、プレーヤーに「カウントを聞いてからサーブするように」と注意してください。

問53　サービスがなされたが、このとき、レシーバーが「まだ用意ができなかったので、レシーブができなかった」と主張しました。主審としては、どう判定したらよいでしょうか。

答　正しいサービスは、レシーバーの用意ができてかまえたとき、なされなければならないのです。（規則15条）従って、「レット」となりますが、レシーバーが、長い間、かまえない場合は、サーバーの方が困ってしまいます。このように長い間、かまえないレシーバーは「フォルト」をとられます。（規則22条の2、解説1）また、質問の場合、用意ができたかどうか、かまえるのが不当に長いかは、プレーヤー（この場合はレシーバー）の主観でなく、主審がみて判断するのです。

問54　サーバーもレシーバーもかまえているのですが、いつまでたってもサーバーがサービスを出しません。すると、レシーバーがかまえをやめて動いてしまいましたので、レシーバーの「フォルト」にしましたが、これは、まちがいでしょうか。

答　両足の一部は、サービスがうたれるまで、静止の状態でコート面についていなければならない（規則16条）とありますから、これを適用すればたしかにレシーバーの「フォルト」ですね。しかし、レシーバーの不利になるほど長い間、サーブしないとサーバーの「フォルト」がとられることもあります。（規則22条の2、解説1、規則14条の4）質問の場合は、むしろ後者が適用されると思いますが、やはり主審がどう判断するかで決まります。

第3章　ダブルス特有の事例

問55　ダブルスのとき、パートナーが、サーバーのそばにかまえていて、レシーバー側から「サービスが見にくい」との申立てがあったのですが、主審として、どう処置したらよいでしょうか。

答　サービスの際、パートナーの位置は、対手から、サーバーやレシーバーを見せなくしたり、妨害したりしないならば、どこに位置してもよいことになっています。（規則16条）この場合、故意にレシーバーが見にくい位置に、サーバーのパートナーが立っていたと判断したときは、サービス側の「フォルト」とします。また、それが無意識であると判断した場合は、「レット」とします。

日田クラブ大活躍

●大分●

昭和50年度大分県バドミントン選手権大会は3月28日、大分市昭和電工体育館で開かれ、各種目で大熱戦がくり広げられた。

男子単では宮原秀三（日田クラブ）が、女子単では緒方節子（日田クラブ）がそれぞれ優勝した。

各種目の主な成績は次の通り。

▼青年男子シングルス

▽準々決勝

佐藤（日田クラブ） 2（15—0） 0（15—4）柏（別府女）

春武（日田クラブ） 2（15—4） 0（15—6）末広（中津市）

宮原（日田クラブ） 2（15—8 15—0 10—15） 1（15—4 6—15 15—6）蒲池（日田クラブ）

小埜（日田クラブ） 2（18—14 15—4） 0（15—1 15—11）宮原（日田クラブ）

春武（日田クラブ） 2（15—3 15—3） 0（15—3 15—13）小埜

▽準決勝

佐藤 2（15—12 9—15 15—7） 1 春武

宮原 2（15—11 15—4） 0 佐藤

▽決勝

◆青年男子ダブルス

▽準決勝

春武・佐藤（日田クラブ） 2（15—1 15—11） 0 造柏・藤原（三井女）

宮原・小埜（日田クラブ） 2（18—14 15—4） 0 末広・立山（中津市）

▽決勝

春武・佐藤 2（15—12 18—16） 0 宮原・小埜

◆成年男子シングルス▽決勝

田中（日田クラブ） 2（15—6 15—5） 0 成田（日田クラブ）

◆成年男子ダブルス▽決勝

田中・成田（日田クラブ） 2（15—9 15—7） 0 弘山・尾関（中津クラブ）

◆壮年男子シングルス▽決勝

増田（中津クラブ） 2—0 藤原（新日鉄）

◆壮年男子シングルス▽決勝

佐藤瀬戸（別府クラブ） 2（15—10 15—2） 0 増田・赤松（中津クラブ）

◆女子シングルス

▽準決勝

緒方（日田クラブ） 2（11—4 11—5） 0 揚野（明野クラブ）

森山（日田クラブ） 2（12—10 11—6） 0 吉永（中津クラブ）

▽決勝

緒方 2（11—8 11—7） 0 森山

◆女子ダブルス▽決勝

緒方・森山（日田クラブ） 2（15—10 15—3） 0 揚野・大山（明野クラブ）

三井造船Aが優勝

●岡山●

第19回岡山県実業団バドミントン選手権大会兼第26回全日本実業団バドミントン大会予選会が5月23日、真庭郡久世町久世中学校体育館で行なわれた。

◆男子A級

▽一位＝三井造船A（上野・芳上）▽二位＝三井造船B（藤原・田丸・松井）▽三位＝川鉄A（平田・藤原）▽同三位＝岡山市役所A（小松・藤井）

◆男子B級

▽一位＝クラレA（永井・吉原）▽二位＝川鉄E（戸部・中村）▽三位＝三井造船C（石原・毛利・山本）▽同三位＝住友重機D（物部・大木）

◆男子C級

▽一位＝三井造船D（佐藤・藤田・神田）▽二位＝旭化成B（古里・阿川）▽三位＝三井造船F（明珍・西村・山室・三浦）▽同三位＝クラレB（小河原・海老原）

◆女子

▽一位＝クラレA（三田・藤原）▽二位＝化成水島（丸山・若林・佐藤）▽三位＝三石（楠本・川端）▽同三位＝クラレB（牧野・立元）

◆少女シングルス▽決勝

酒見（別府女） 2（12—9 12—10） 0 中村（別府女）

◆少女ダブルス▽決勝

中村・吉岡（別府女） 2（15—10 7—15 15—10） 1 酒見・甲斐（別府女）

今泉、単複に6連覇

●富山●

第6回富山県社会人バドミントン選手権大会は、5月16日、23日の両日、日本曹達株式会社高岡工場体育館で行なわれ、男子ダブルスで河村・今泉組（高岡市役所）が、またシングルスでも今泉が優勝、それぞれ6連勝の偉業を達成した。

主な成績は次の通り。

◆一般男子▽準決勝

河村・今泉（高岡市役所）15—3、15—5中嶋・二上（氷見西中教員・高岡商高教員）、関村・牧野（高岡市役所）12—15、15—12、15—5米原・米沢（高岡市役所）

▽決勝

河村・今泉 2（スコア不明） 0 関村・牧野

◆一般男子シングルス▽決勝

今泉（高岡市役所） 2（15—10 15—3 11—15） 1 米沢（高岡市役所）

◆混合ダブルス▽決勝

寺前・放生（友輪クラ） 2（15—11 15—12 6—15） 1 遠畑・遠藤（不二越）

◆一般女子ダブルス▽決勝

遠藤・中川（不二越） 2（15—9 15—8） 0 斉平・崎（友輪クラ）

◆一般女子シングルス▽決勝

遠藤（不二越） 2（11—1 11—4） 0 古川（友輪クラ）

◆30歳男子シングルス▽決勝

大野（十条） 2（15—0 15—6） 0 堺（十条）

◆30歳男子ダブルス▽決勝

大野・堺（十条） 2（15—4 15—6） 0 沢村・高岡（新潟クラ）

◆40歳男子ダブルス▽決勝

内多（砺工教）・不破（富山南教） 2（15—3 15—13） 0 高木（日曹）・竹島（高岡）

◆40歳男子シングルス▽決勝

不破（富山南教） 2（15—10 15—2） 0 高橋（東洋曹達）


MADE BY SUNBATTA
SUNBATTA
Rush
SunBatta
BADMINTON RACKET
S-75
Rush
サンバタ

◆揃えて保存すればバドミントンの百科事典になる◆

バドミントン界バックナンバー販売一覧表

1号＝品切れ
2号＝品切れ
3号＝品切れ
4号＝品切れ
5号＝品切れ
6号＝品切れ
7号＝品切れ
8号＝品切れ
9号＝品切れ
10号＝品切れ
11号＝品切れ
12号＝品切れ
13号＝100円
▼インタハイ▼監督・選手の手記▼日本協会の組織と運営▼私の指導法
14号＝100円
▼教職員大会▼関西学生界の現状▼自衛隊でバドミントン
15号＝品切れ
16号＝品切れ
17号＝品切れ
18号＝100円
▼全日本総合選手権▼同大会写真グラフ▼バックハンドの徹底的研究
19号＝100円
▼アジア大会総まくり▼インドネシアバドミントン界の実情▼ルール100問▼百年の大計を考えよ
20号＝品切れ
21号＝100円
▼バドミントン発展のために▼全国に広げよう、ママさんバドミントン▼バドの守りと攻め
22号＝品切れ
23号＝品切れ
24号＝品切れ
25号＝130円
▼私たちの練習法▼インタハイ▼小島はハルトノになぜ勝てぬ▼ネットの話
26号＝130円
▼相沢・竹中特集▼ばどみんとん昔話▼ここがききたい▼勉強とクラブは両立するか
27号＝130円
▼中国をめぐる動きと現状▼黒潮国体▼学生界展望
28号＝130円
▼ホープ順調に成長▼女子学生界を展望する▼小島海外で活躍▼ワイド版〝読者の広場〟
29号＝130円
▼全日本総合選手権特集▼高木が女王にカムバック▼近づくユ杯▼代表選手を診断すれば
30号＝130円
▼第1回国際女子競技会▼世界をめざす▼全国の用具アンケート▼百万人のバド上達法
31号＝品切れ
32号＝130円
▼海外遠征総まくり▼近づくユ杯と海外情勢▼第一線選手アンケート
33号＝品切れ
34号＝130円
▼ユ杯の三連勝なる▼栄光と熱戦のあと▼神様に昇格した中山主将▼栄冠、涙あり
35号＝品切れ
36号＝品切れ
37号＝130円
▼ト杯アジア東地区決勝▼ミュンヘン五輪報告▼全国中学生大会▼百万人のバド上達法
38号＝品切れ
39号＝130円
▼鹿児島国体▼全日本学生選手権▼大衆スポーツ活動の基盤と現状▼バド72年10大ニュース
40号＝130円
▼47年度全日本総合選手権▼小島〝復活〟▼女子ホープは目白押し▼アマチュアリズムとは
41号＝130円
▼第2回国際女子競技会▼欧州の女王▼たくましく変身した欧州勢
42号＝品切れ
43号＝品切れ
44号＝品切れ
45号＝品切れ
46号＝130円
▼中国の実力とその周辺▼ハルトノ以外対抗できず▼中国×英国4戦の全記録
47号＝130円
▼第24回インタハイ▼金沢市工と四条畷に栄冠▼西村、単複ともに危げなし▼徳田〝中山二世〟
48号＝130円
▼第1回日中競技大会▼抜群のスピードとテクニック▼中国強し▼中国10戦全勝を飾る
49号＝130円
▼48年度全日本総合選手権▼小島輝くV7▼湯木も王座ガッチリ▼28回国民体育大会
50号＝130円
▼中国チームから得たもの▼日中大会における中国3選手（湯・侯・陳）に学ぶ連続写真
51号＝130円
▼第3回国際競技大会▼女子の活躍で日本選抜辛勝▼連載（小島一平）
52号＝220円
▼全英選手権大会▼湯木2度目の女王の座へ▼相沢・竹中3連勝ならず▼連載（小島、中山）
53号＝220円
▼全英選手権を終えて（湯木博恵、栂野尾昌一）▼スナップ写真集▼連載（小島、中山）
54号＝220円
▼第1回ピンナップ特集▼外国からの挑戦者たち
55号＝220円
▼第五回女子チャンピオンズ▼連載（小島、中山）▼バドミントンと私
56号＝220円

◆かんたんに本誌を綴じることのできる◆

バドミントン界専用合本バインダー12月発売

●定価 500円（送料実費） お申込みはハガキで

◆濃紺布張り・金文字押し・ノリ，穴あけ不要◆

▼カナダオープンで池田・栂野尾優勝▼ビギナーへの手紙▼母と子大会▼連載（小島）

57号＝品切れ

58号＝220円

▼中国・インドネシアついに対決▼デンマークオープン写真集▼連載（小島、中山）

59号＝220円

▼第2回訪中友好試合▼教職員大会▼インタハイ▼アジア大会速報▼連載（小島）

60号＝品切れ

61号＝220円

▼第29回国民体育大会▼東、西日本学生選手権▼全英選手権大会（ギルクス、ハルトノ、グナラン）連続写真▼連載

62号＝品切れ

63号＝220円

▼全日本総合選手権▼同写真集▼連載（小島）

64号＝220円

▼第4回国際競技会▼湯木ギルクスに快勝▼英国強し▼第6回全日本チャンピオンズ

65号＝220円

▼母鳥のバドミントン▼内外展望台▼第1回全日本総合団体戦▼デンマークオープン

66号＝品切れ

67号＝品切れ

68号＝220円

▼無念ノ・ユ杯V4ならず▼湯木中山の大健闘もむなし▼バドミントンに賭けた青春・湯木

69号＝220円

▼ユ杯詳報▼湯木、中山マイペース▼相沢・竹中不調▼日本必死の防戦も及ばず

70号＝220円

▼インタハイ▼植野三冠に輝く▼男子は村田が制す▼東日本学生選手権

71号＝220円

▼ト杯東地区予選対香港▼日本完勝▼土田初出場で重責を立派に果たす

72号＝220円

▼全日本社会人大会▼小島、湯木が優勝▼全国の指導者に望むこと

73号＝220円

▼第4回日中競技会▼ヤングパワー林詩銓▼はつらつ劉霞▼中国ランキング

74号＝220円

▼全日本総合選手権▼小島不滅の金字塔▼湯木キズだらけの四連勝▼徳田白熱の善戦

75号＝220円

▼第30回国民体育大会▼神奈川が二年ぶり10度目の栄冠▼全日本学生選手権

76号＝220円

▼ト杯アジア東地区決勝対韓国▼日本9－0で完勝▼第5回国際競技会▼銭谷×シュナーゼ戦

77号＝220円

▼全日本総合選手権団体戦▼第7回全日本女子チャンピオンズ▼ジャカルタ新聞とユーバー杯

78号＝300円

▼全英選手権大会▼ハルトノ八回目の栄冠▼ギルクスは三冠王▼アジア招待大会▼スミラト中国勢を連破して優勝

79号＝300円

▼ト杯アジア地区決勝対マレーシア▼王国のバドミントンとスポーツ界▼夜明けの時代をふりかえって

★申込方法★

ハガキにご希望のナンバーと冊数を明記のうえ、左記あてお申し込みください。発送のさいに振込用紙を同封しますので、到着後代金をお振り込みください。

なお、毎週1回集計のうえ集中的に発送するシステムをとりますので、約二～三週間の時間的余裕をみてください。

本誌専用合本バインダーもぜひ同時にお申込みください。

★申込先★

〒150 東京都渋谷区神南一ノ一ノ一
岸記念体育会館内
日本バドミントン協会出版局

◆The Badminton World '77 Calendar

1977年バドミントン・カレンダー

- 11月20日発売・定価 950円（送料実費）
- 大型B3判 12ページ・オールカラー
- 男女一流プレーヤーを網羅

◆第7回世界女子バドミントン選手権大会記録

ユーバー杯奪還への道

- 発売中・定価 1,000円（送料 120円）
- A5判 128ページ，うちカラー16ページ
- プレーヤー，指導者必読の書

編集室から

◇今月は、インタハイと教職員大会を中心にまとめました。どちらも真夏の大会ですが、高校生、先生方ともに大活躍でした。記録はできるだけ準々決勝までさかのぼるようにしていますが、スペースの都合などで、多少省略させていただくこともあります。悪しからずご了承願います。

◇すでにお知らせしましたが、相変わらず転居先不明や〝訪ねあたりません〟と戻ってくる本誌があります。引っ越しの際はお手数でも旧住所、新住所の両方を明記してハガキでご連絡ください。また、アパート、団地、マンションにお住いの方はできるだけくわしく住所をご連絡ください。会社あての方は部課を正確にお願いいたします。

◇バックナンバーの頒布を開始いたしました。在庫の一覧は38～39ページにあります。お手もとのバックナンバーで欠けているものがありましたら、すぐお申し込みください。編集部で可能なかぎり、ごく一部の保存を除いて整理したのですが、どうしても在庫のないものが、いくつかあります。また、今回発表したものでも、数の関係で途中で品切れになるものもあると思われますので、どうぞお早目にお申し込みください。送料は実費をご負担いただきますのであらかじめご了承ください。なお、代金は発送の際に振込用紙を同封いたしますので、お近くの郵便局からお振り込み願います。

◇なお同時に、本誌合本バインダーの予約も受け付けております。例年と同じ、紺色の布クロス張り、金文字押しで、一年間12冊が、ノリも穴あけも不要で簡単に綴じることのできる便利なものです。

◇カレンダーの詳細が決まりましたのでお知らせいたします。タイトル「バドミントン界別冊カレンダー The Badminton World '77」、体裁＝B3判（本誌の4倍大）オールカラー12ページ、収録選手＝小島一平・銭谷欽治・池田信孝・栂野尾昌一・飯野佳孝・土田証雄・長谷川博幸・湯木博恵・池田美加・栂野尾悦子・徳田敦子・秋本八代美・秋本幸子・植野恵美子ほか。定価は800円の予定で進めてきましたが、製作費の値上りによりやむをえず950円となりました。昨年より150円アップとなりましたが、今年はオールカラーといたしましたのでご了承願います。発行日＝11月中旬、ご希望の方はハガキに申込部数を明記のうえ、編集部あてお申込みください。発行と同時にお送りいたします。代金は送料実費とともに、カレンダー到着後お近くの郵便局から、当方でお送りする振替用紙によってお振り込みください。

◇次号はオールスターダブルス、全日本社会人などを中心にお届けいたします。

本誌特製 合本バインダー	別冊カレンダー The Badminton' World '77
紺色布クロス貼り	B3判・オールカラー
500円 12/1発売	**950円 11月下旬発行**
ご希望の方はハガキでご予約を	

＝昭和51年度 大会予定カレンダー＝

◆すでに行われた大会

第26回全日本実業団選手権大会 6月25～30日（藤沢市）
第27回全国高等学校選手権大会 8月1～6日（中野市）
第15回全日本教職員選手権大会 8月11～15日（東京都）
第6回全国中学生大会 8月18～20日（仙台市）
第19回全日本社会人選手権大会 9月12～15日（宮崎市）
第5回日中競技大会 9月下旬～10月上旬（北京市・他）

◆開催の準備を進めている大会

第31回国民体育大会競技 10月25～28日（佐賀県牛津町）
第27回全日本学生選手権大会 10月26～31日（東京都）
昭和51年度全日本総合選手権大会個人戦 12月8～12日（東京都）
昭和51年度全日本総合選手権大会団体戦 2月19～20日（東京都）
国際大会（招待） 第6回国際競技大会 1月下旬～2月上旬（東京都・他）
国際大会（派遣） 第4回アジア選手権大会 10月29～11月7日（ハイデラバット市）
第20回全カナダオープン選手権大会 12月1～4日（トロント市）
第25回全デンマークオープン選手権大会 3月12～15日（コペンハーゲン市）
第67回全英オープン選手権大会 3月23～26日（ウエンブレー市）

バドミントン界 第82号 第8巻第8号 定価 300円

昭和51年8月1日発行
編集／発行人・秦 浩

©1976 無断転載を禁ず

発行所・日本バドミントン協会
郵便番号150 東京都渋谷区神南1－1－1 岸記念体育会館
電話 03－467－3111（代表） 内線351／03－467－7095（直通）
振替 東京32193

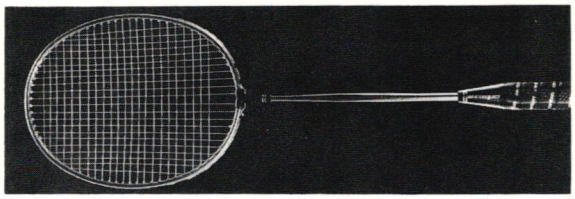
印刷所・明宏印刷株式会社 東京都豊島区南大塚2－29－8

ご存知、ギルクス夫人。
カアルトンで全英選手権3種目を制覇!

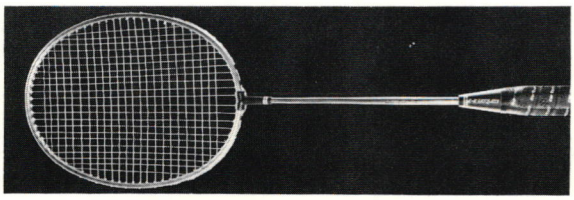
carlton
勝利を招く世界のカアルトン



総発売元
メトロレジャー株式会社
〒101 東京都千代田区外神田5-6-4 ☎(03)833-3661(代)

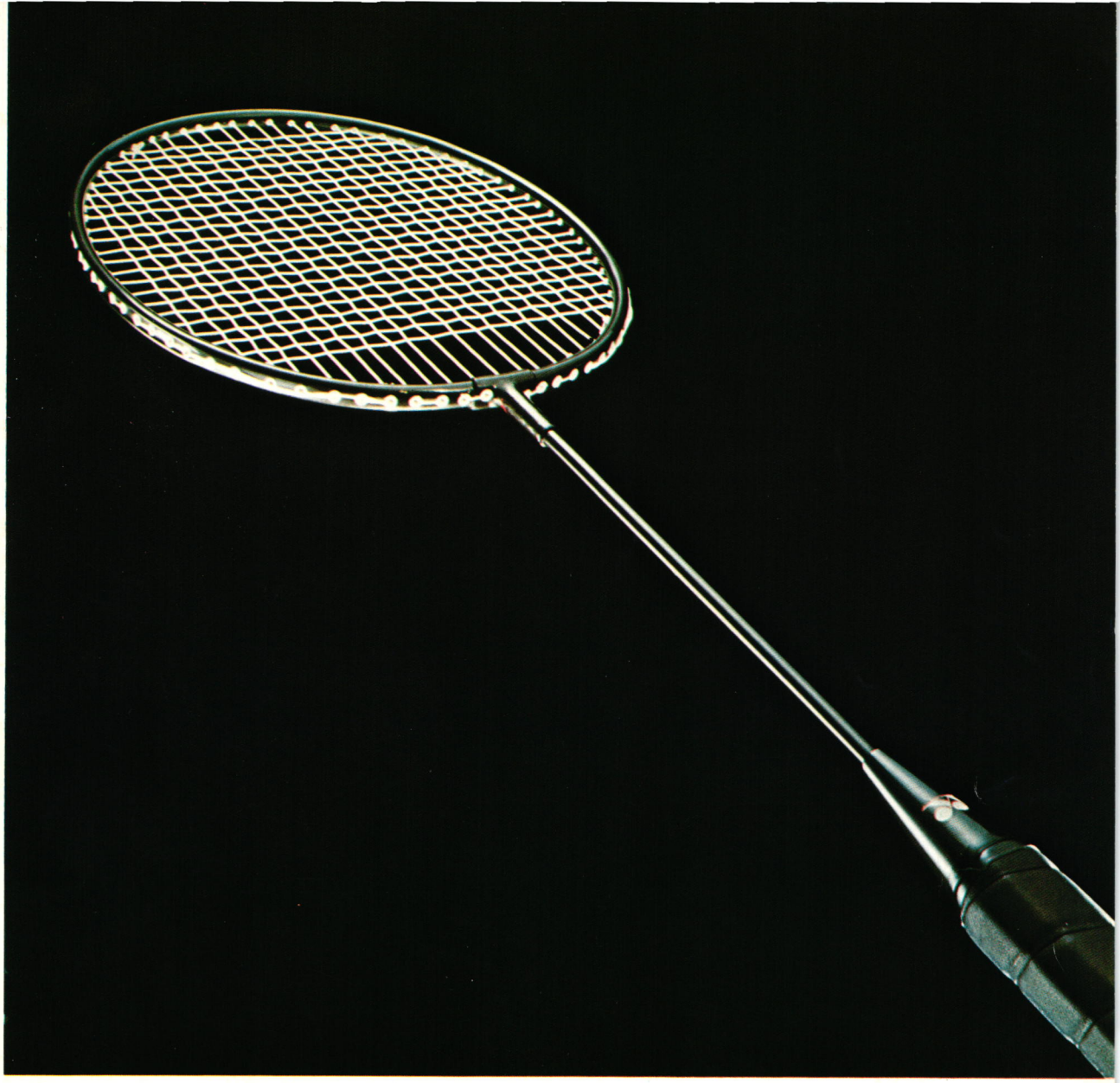


カアルトン3.7X：大切なパワーの起点であるシャフトの少し上をフラットに仕上げてあります。この為、ストロークのホイップに抜群の弾性が生れ、ショットのフィーリングが見違えるように良くなりました。このすばらしい弾性をそのまま導入した3.7Xは、パワーとスピードと絶妙のタッチを生みだしました。
¥7,900(フレームのみ)



カアルトン3.7：シャフトは3.7Xにくらべて少し固めになっています。これは、ショットの正確さと弾性のトータル・バランスを配分し、ベターなフィーリングを与えます。この為、ラケットは、あなたの身体そのもののように、すばやい反応を起します。この3.7を使いこなすのは、あなた自身への挑戦です。
¥7,900(フレームのみ)

月刊「バドミントン界」第82号
昭和五十一年八月一日発行（毎月一回一日発行）
昭和四十四年十二月二十三日　第三種郵便物認可
発行所
東京都渋谷区神南一ノ一ノ一
岸記念体育会館内
日本バドミントン協会　定価三〇〇円



時速270kmのスマッシュ！

まっ黒いラケットから、まっ白いシャトルコックが時速270kmのスピードで、相手コートにたたきつけられる。目にもとまらぬスマッシュ。今や噂のラケット、ブラッキー。その秘密はヨネックスが初めて可能にした、極細の特殊ステンレスシャフト。ぐんと細身で、普通より長目ですから、まるでムチのように打つ瞬間鋭利にしなります。息をのむ反発力です。そのうえ、特殊合金フレームの強さがプラスされ、切れ味のよい攻撃力。あそこで、ここで、ブラックパワーと恐れられています。

No.8100 BLACKEN

●No.8100ブラッキー……￥5,500

YONEX